

令和 7 年度

学 生 募 集 要 項

一般選抜 [前期日程・後期日程]



三 重 大 学

自然災害や人為災害，感染症の全国的な拡大等の不測の事態への対応について

学生募集要項に記載のある出願期間，試験日及び入学試験の実施方法等を異なる内容に変更する可能性があります。

変更がある場合は，本学ウェブサイトの「入試情報」にて掲載します。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>



－ 工学部の改組計画について －

三重県は、世界最大級の半導体製造工場を有しており（電子回路製造業の製品出荷額全国1位）、その製造装置システムの制御には高度な情報技術が必要不可欠です。また、近年著しく発展を遂げている自動運転技術を必要とする自動車産業、クラウド技術を中心として急成長を遂げている情報系企業も集積しており、この地域での高度情報専門人材の育成が急務です。

そこで、基礎から応用までを教授する情報工学コースを強化し、デジタル・半導体分野の両方の知識を有する高度技術者を育成する電子情報工学コースを新設することで、これまでの高度情報人材育成の取り組みを拡充・進展させていきます。

企業等と連携した授業科目の開発・実施、PBL 教育、短期・長期インターンシップの拡張など、多角的な教育展開で、地域社会の課題を解決するための人材として育成し、地域の経済発展や社会問題の解決に貢献することが期待されます。

改組前（令和6年度）

学科名（入学定員）	コース名	募集人員	合計
総合工学科 (400名)	総合工学コース	40名	400名
	機械工学コース	80名	
	電気電子工学コース	90名	
	応用化学コース	90名	
	建築学コース	40名	
	情報工学コース	60名	



改組後（令和7年度設置）

学科名（入学定員）	コース名	募集人員	合計
総合工学科 (430名)	機械工学コース	85名	430名
	電気電子工学コース	70名	
	電子情報工学コース	40名	
	応用化学コース	96名	
	建築学コース	44名	
	情報工学コース	95名	

目 次

三重大大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）	1
入学者選抜の概要	1
三重大大学入試情報の案内	1

I 各学部に通ずる事項

1. 入学定員（募集人員）	2
2. 個別学力検査等の実施日程（前期日程，後期日程）	3
3. 出願資格等	5
4. 過年度の大学入学共通テスト成績	5
5. 出願手続	5
6. 出願上の注意事項	13
7. 「入試過去問題活用宣言」への参加について	13
8. 障害等のある入学志願者との事前相談について	13
9. 受験票及び受験案内について	15
10. 受験に際しての注意事項（共通的な事項）	15
11. 不正行為の取扱いについて	16
12. 個別学力検査等の試験場	17
13. 受験時の宿泊案内	20
14. 合格発表	20
15. 入学手続	21
16. 追加合格，欠員補充第2次募集	22
17. 一般選抜実施状況	22
18. 入試成績の開示について	23
19. その他	24
20. 個人情報の利用目的について	24
21. ノートパソコンの必携化	25

II 学部別の事項

1 人文学部	【前期日程，後期日程】	26
2 教育学部	【前期日程，後期日程】	31
3 医学部	【前期日程，後期日程】	47
4 工学部	【前期日程，後期日程】	56
5 生物資源学部	【前期日程，後期日程】	64
6 大学入学共通テスト，個別学力検査の利用教科・科目，配点等に関する注意事項		69

三重大大学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

三重大大学は、本学の一員となって学び続ける意欲を持つ、次のような学生を求めます。

- 入学後の修学に必要な基礎的知識と技能を有している（知識・技能）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えることができる（思考力・判断力）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えることができる（表現力）
- 人や自然に対して関心を持ち、社会に貢献したいという意欲を有している（主体性）
- 他の人と相互理解を図り協力して、新しい課題に積極的に挑戦しようとする態度を有している（協働性、主体性、多様性）

上記の方針に基づき、学部ごとに適切な選抜方法を定め、実施します。

入学者選抜の概要

区 分	出 願 期 間	試 験 日	合 格 発 表	合格通知書, 入学手続要項発送	入 学 手 続
前期日程	1月27日(月) ～	2月25日(火), 2月26日(水) 「注1」	3月7日(金) 10時頃	3月7日(金)	【郵送（書留速達）の場合】 3月10日(月)～14日(金) 17時必着 【持参の場合】 3月15日(土) 10時～17時
後期日程	2月5日(水)	3月12日(水)	3月21日(金) 16時頃	3月21日(金)	【郵送（書留速達）の場合】 3月24日(月)～26日(水) 17時必着 【持参の場合】 3月27日(木) 10時～17時

「注1」 2月25日(火)は全学部、2月26日(水)は医学部のみ試験を行います。

三重大大学入試情報の案内

■本学ウェブサイト <URL> <https://www.mie-u.ac.jp/>

「入試情報」(<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>)において、以下の情報等をお知らせしています。



- 学生募集要項
- インターネット出願
- 過去の入試問題、解答例及び出題意図（一般選抜）
- 出願状況、2段階選抜実施状況（医学科のみ）、合格発表、追加合格及び欠員補充第2次募集
- 入試実施状況、入試関係統計資料
- オープンキャンパス、進学相談会等の各種イベント案内
- 入試に関するQ&A
- 資料請求方法

■スマートフォン・携帯電話サイト

資料の請求方法、志願状況速報、合格発表などの各種情報を閲覧することができます。



<URL> <https://daigakujc.jp/mie-u/>

I 各学部に通ずる事項

1. 入学定員（募集人員）

学部	学 科 ・ コース		入学定員	募 集 人 員					備 考
				一般選抜		特別選抜			
				前期日程	後期日程	学校推薦型 選抜	帰国生徒	社会人	
人文学部	文 化 学 科		92	67	18	5	1	1	「注1」「注2」 「注4」参照
	法 律 経 済 学 科		153	100	33	18	1	1	
	計		245	167	51	23	2	2	
医学部	医 学 科		125	75	10	40			「注1」「注3」 「注5」「注6」 参照
	看 護 学 科		80	52	5	20		3	
	計		205	127	15	60		3	
工学部	総合工学科	機 械 工 学 コ ー ス	85	45	20	20			「注1」「注9」 参照 ※各コースの入学定員は配属目 安と読み替えてください。
		電 気 電 子 工 学 コ ー ス	70	32	25	13			
		電 子 情 報 工 学 コ ー ス	40	20	15	5			
		応 用 化 学 コ ー ス	96	40	46	10			
		建 築 学 コ ー ス	44	34	10				
		情 報 工 学 コ ー ス	95	62	25	8			
	計		430	233	141	56			
生物資源学部	生物資源学科	生 物 資 源 総 合 科 学 コ ー ス	30	15		15			「注1」「注2」 「注8」参照 ※各コースの入学定員は配属目 安と読み替えてください。
		農 林 環 境 科 学 コ ー ス	110	53	28	25	2	2	
		海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス	45	25	10	8	1	1	
		生 命 化 学 コ ー ス	75	41	10	22	1	1	
	計		260	134	48	70	4	4	

学部	課程 ・ コース ・ 選修			入学定員	募 集 人 員							備 考	
					一般選抜		特 別 選 抜						
							学校推薦型選抜		地域推薦		帰国生徒		社会人
前期日程	後期日程	推薦Ⅰ	推薦Ⅱ	三重県南部地域	三重県全域								
教 育 学 部	学校教育 教員養成 課 程	国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	23	11	3			「注7」	「注7」			「注1」 参照
			中等教育選修		7	2							
		社 会 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	17	8	2			「注7」	「注7」			
			中等教育選修		5	2							
		数 学 教 育 コ ー ス	初等教育選修	21	11				「注7」	「注7」			
			中等教育選修		10								
		理 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	19	10				「注7」	「注7」			
			中等教育選修		9								
		音 楽 教 育 コ ー ス	初等教育選修	10	4	3			「注7」	「注7」			
			中等教育選修		3								
		美 術 教 育 コ ー ス	初等教育選修	9	6				「注7」	「注7」			
			中等教育選修		3								
		保 健 体 育 コ ー ス	初等教育選修	17	6	3			「注7」	「注7」			
			中等教育選修		5	3							
		技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	10	5				「注7」	「注7」			
			中等教育選修		4		1						
		家 政 教 育 コ ー ス	初等教育選修	13	5		3		「注7」	「注7」			
			中等教育選修		5								
		英 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	13	6				「注7」	「注7」			
			中等教育選修		7								
		特別支援教育コース		18	11	7				「注7」			
		幼児教育コース		10	10					「注7」			
		学校教育 教育学専攻 コース	教育学専攻	20	7		3		「注7」	「注7」			
			教育心理学専攻		7		3	「注7」	「注7」				
		計		200	165	25	7	3	若干名「注7」	若干名「注7」			

合 計	入学定員	募 集 人 員					備 考
		一般選抜		特 別 選 抜			
		前期日程	後期日程	学校推薦型選抜	帰国生徒	社会人	
		1,340	826	280	219〔注7〕	6	

- [注] 1. 学校推薦型選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、教育学部は前期日程で、医学部、工学部、生物資源学部は一般選抜で行います。
2. 帰国生徒特別選抜及び社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、人文学部、生物資源学部ともに一般選抜で行います。
3. 医学部看護学科の社会人特別選抜で欠員が生じた場合の欠員補充は、一般選抜で行います。
4. 人文学部文化学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦C：5名です。
人文学部法律経済学科の学校推薦型選抜における募集人員の内訳は、推薦A：5名、推薦B：3名、推薦C：10名です。
5. 医学部医学科の前期日程における募集人員には、三重県地域医療枠5名程度を含みます。
6. 医学部医学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠30名（地域枠A：25名程度、地域枠B：5名程度）を、医学部看護学科の学校推薦型選抜における募集人員には、地域枠13名程度を含みます。
7. 教育学部地域推薦について
 (1) 地域推薦（三重県南部地域）の合格者は、各コース1名以内、合計5名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
 (2) 地域推薦（三重県全域）の合格者は、前期日程初等教育選修の募集人員（選修の別がないコースは前期日程の募集人員）が5名以下のコースは1名以内、6名以上の場合は2名以内とします。また、合格者があった場合は前期日程の定員を充当します。
8. 生物資源学部生物資源学科（生物資源総合科学コース）の学校推薦型選抜における募集人員は、紀伊黒潮枠15名とします。
9. 工学部総合工学科（電子情報工学コース）の学校推薦型選抜における募集人員は、女子を対象とする女子枠を設け、5名とします。

2. 個別学力検査等の実施日程

【前期日程：2月25日(火)】

学部等		時間									
		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	
人文学部	文化学科					国 語 12:40～14:40 (120分)			外国語 15:50～17:10 (80分)		
	法律経済学科		数 学 9:30～11:30 (120分)			国 語 12:40～14:40 (120分)			外国語 15:50～17:10 (80分)		
教育学部	国語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術・ものづくり教育コース 家政教育コース 英語教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース		数 学 9:30～11:30 (120分)			国 語 13:00～14:40 (100分)			外国語 15:50～17:10 (80分)		
	音楽教育コース		実技 9:30～								
	美術教育コース		実技 9:30～16:40								
	保健体育コース		実技 10:00～								
医学部	医 学 科		数 学 9:30～11:30 (120分)			理 科 12:30～15:00 (150分)			外国語 15:50～17:10 (80分)		
	看護学科		数 学 9:30～11:30 (120分)			国 語 13:00～14:40 (100分)			外国語 15:50～17:10 (80分)		
工 学 部			数 学 9:30～11:30 (120分)			理 科 12:30～14:00 (90分)					
生物資源学部			数 学 9:30～11:30 (120分)			理 科 12:30～14:00 (90分)					

【前期日程：2月26日(水)（医学部のみ）】

時間 学部等		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
医学部	医 学 科		面 接 9:30～							
	看護学科		面 接 9:30～							

【後期日程：3月12日(水)】

時間 学部等		9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
人文学部				小論文 10:00～12:00 (120分)						
教育学部	国語教育コース 特別支援教育コース			小論文 10:00～12:00 (120分)		面接 13:00～				
	社会科教育コース					面接 13:00～				
	音楽教育コース		小論文 9:30～10:30 (60分)	実技 10:50～						
	保健体育コース			実技 10:30～						
医学部	医学科		小論文 9:30～11:30 (120分)			面接 13:00～				
	看護学科		小論文 9:30～11:30 (120分)			面接 13:00～				
工学部	機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース		理科（物理） 10:00～12:00 (120分)							
	応用化学コース		理科（化学） 10:00～12:00 (120分)							
	建築学コース		立体スケッチ 10:20～11:20 (60分)			面接 13:30～				
	情報工学コース		小論文 10:00～12:00 (120分)							
生物資源学部			ペーパーインタビュー 10:00～11:00 (60分)							

3. 出願資格等

○出願資格

本学の一般選抜に出願することができる者は、次の各号のいずれかに該当し、かつ令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学が指定した教科・科目を受験した者です。

- (1) 高等学校若しくは中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者
- (2) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者及び令和7年3月修了見込みの者
- (3) 学校教育法施行規則（昭和22年文部省令第11号）第150条の規定により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者及び令和7年3月31日までにこれに該当する見込みの者（次の①から⑥のいずれかに該当する者）
 - ① 外国において学校教育における12年の課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定したもの
 - ② 文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ③ 専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であること。その他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以降に修了した者及び令和7年3月31日までに修了見込みの者
 - ④ 文部科学大臣の指定した者
 - ⑤ 高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣が行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者及び令和7年3月31日までに合格見込みの者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの（同規則附則第2条の規定による廃止前の大学入学資格検定規程（昭和26年文部省令第13条）による大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥ 本学において、個別の入学資格審査により、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和7年3月31日までに18歳に達するもの

「注」

出願資格⑥により出願を希望する者については、本学への出願前に個別の入学資格審査を行いますので、必要書類を添えて申請してください。個別の入学資格審査の詳細については、本学ウェブサイトの「入試情報」（〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>）を参照してください。

なお、他大学において入学資格の認定を受け、令和7年度大学入学共通テストに出願し受験した者が、本学の一般選抜に出願する場合は、出願受付開始日の7日前（令和7年1月20日(月)）までに申請してください。（土・日・祝日・年末年始を除く）

4. 過年度の大学入学共通テスト成績

過年度の大学入学共通テストの成績は、全ての学部・学科等において利用しません。

5. 出願手続

(1) 出願方法

< 注意 >

1. インターネット出願は、インターネットでの入力及び入学検定料の支払いを行っただけでは出願手続き完了にはなりません。出願期間内に必要な出願書類等が到着するように、書留速達で郵送する必要があります。
2. 前期日程と後期日程の両方に出願する場合は、それぞれインターネットでの入力、入学検定料の支払い及び出願書類等の郵送が必要となります。
3. インターネット出願サイトでの志願者情報登録後、48時間以内に入学検定料を支払う必要があります。（ただし、令和7年2月5日(水)17時までとなります。）
4. 上記1及び2を考慮し、余裕をもってインターネット出願を行ってください。

インターネット出願の流れ（6～7ページ参照）

Step1 インターネット出願登録	パソコン・スマートフォン等で本学ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスし、必要情報を入力、登録してください。
	
Step2 入学検定料（17,000円）の支払い	インターネット出願サイトの指示に従って、検定料をお支払いください。

Step3 出願確認票等の印刷, 必要書類等の郵送	インターネット出願サイトから出願確認票等を印刷し,その他必要書類等とともに本学に送付してください。
------------------------------	---

(2) 出願期間等

事 項	期 間
インターネット入力	令和7年1月20日(月) 9時から 2月 5日(水) 17時まで
入学検定料の支払い	インターネット入力後 48時間以内 ※ただし, 2月 5日(水) 17時まで
出願期間 (提出が必要な出願書類等の郵送)	令和7年1月27日(月) から 2月 5日(水) 【必着】

注意事項

- ・出願方法は郵送のみとし, 出願締切日は令和7年2月5日(水)です(本学必着)。ただし, 2月3日(月)以前の発信局(日本国内)の消印がある簡易書留の速達郵便に限り, 期限後に到着した場合でも受理します。郵便事情等を考慮の上, 余裕をもって発送してください。
- ・荒天や輸送事情等のトラブルなど志願者の責めに帰さない理由により, 2月5日(水)までに到着しないことが想定される場合には, 必ず2月4日(火)17時00分までに担当までご連絡ください。
- ・出願書類等(出願確認票, 大学入学共通テスト成績請求票, 調査書等)の提出は, 必ず書留で郵送してください。書留以外で郵送した場合, 事故があっても本学ではその責任は負いません。
- ・必要書類等の受領確認は電話でお答えすることはできませんので, 日本郵便ホームページ等の追跡サービスで確認してください。
- ・出願状況は, 本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。(1ページ参照)

(3) インターネット出願のために準備するもの

パソコン・スマートフォン等の動作環境	インターネットに接続されたパソコン・スマートフォン等から出願登録を行います。自宅にパソコン等がない場合は, 学校, 図書館, 知人等のパソコン等から出願してください。
印刷環境(カラー推奨)	郵送が必要な書類をA4用紙で印刷します。自宅にプリンタがない場合は, 学校, 図書館, 知人, コンビニエンスストア等のプリンタから印刷してください。カラー印刷ができない場合は, 白黒印刷でも構いません。
メールの設定	出願登録時にお知らせメールを送信します。メール受信設定でドメイン設定を行っている場合は, メールが届かないことがあります。 @sak-sak.net.jpを受信可能なドメインとして設定してください。
提出が必要な出願書類等	8~10ページ参照の上, 提出期間内に間に合うようあらかじめご用意ください。
顔写真データ	出願情報の登録の際に, 顔写真データのアップロードが必要になりますので, あらかじめ準備してください。 ・出願日前3か月以内に撮影した, 無背景・3分身・無帽・正面向きのもの ・ファイル形式はJPEGまたはJPG形式 ・縦4×横3の比率のもの ※出願サイトに写真データをアップロードする際に, 写真の回転・拡大・縮小等を行い, 縦4×横3のサイズに切り出すこともできます。 ※証明写真をカメラで再撮影したものをアップロードしないでください。 画像が粗くなり, 本人確認できない場合があります。
封筒	必要書類等郵送のために, 市販の角形2号封筒(24cm×33.2cm)をご用意ください。

(4) 出願手順の手順

本学ウェブサイトから「インターネット出願サイト」にアクセスしてください。

「インターネット出願サイト」〈URL〉<https://www.mie-u.ac.jp/exam/internet/>



Step1 インターネット出願登録

- ・インターネット出願サイトの「利用案内」，「出願手順」，「Q & A」等を必ず確認してください。
- ・画面に従って，出願登録を行ってください。
- ・確認画面で登録内容に間違いがないか，確認してください。

※出願登録完了後の登録内容の変更はできませんので，登録した内容を十分に確認してください。

Step2 入学検定料の支払い

次のいずれかの方法で支払い手続きを行ってください。前記(2)出願期間等に記載された支払い期限までにお支払いください。検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

- クレジットカード，ネットバンキング
画面に従って，支払い手続きを行ってください。
- 指定のコンビニエンスストア及び pay-easy（ペイジー）取扱い金融機関ATM
 - ・支払い方法を選択し，表示される番号（出願受付番号とは別の番号）をメモするか，画面を印刷してください。
 - ・メモした番号等を使用し，コンビニエンスストア，金融機関で支払い手続きを行ってください。

Step3 出願確認票等の印刷

A 4 サイズの白の用紙で，「出願確認票」を印刷（カラー推奨）してください。

令和7年度大学入学共通テスト成績請求票を出願確認票の所定の欄に貼りつけてください。

出願書類等を送付するための封筒に貼付する「封筒貼付用宛名ラベル」を印刷してください。

Step4 必要書類等の郵送

必要書類等（8 ページ(8)提出が必要な出願書類等参照）を**書留速達**により郵送してください。

(5) 入学検定料の支払い方法

支払い方法は，クレジットカード，ネットバンキング，コンビニエンスストア，銀行ATM（ペイジー）が利用可能です。それぞれ手続等注意事項を確認の上，支払い方法を選択してください。詳しい支払い方法については，出願情報登録後の「お支払い方法選択」で選択した支払い方法の画面で確認してください。

検定料の支払いにかかる手数料は志願者負担です。

支払方法	取扱機関等	備 考
クレジットカード	VISA, MASTER, AMERICAN EXPRESS, JCB, Diners Club	支払い方法は一括のみです。
ネットバンキング	楽天銀行，au じぶん銀行， Pay-easy 対応ネットバンキング	事前に金融機関にて口座の開設，申し込みが必要です。
コンビニエンスストア	セブンイレブン，ローソン，ミニストップ， ファミリーマート，デイリーヤマザキ・デイリーストア， セイコーマート	支払い方法は現金のみです。
銀行ATM（ペイジー）	ゆうちょ銀行，みずほ銀行，三菱UFJ銀行， 三井住友銀行，りそな銀行，静岡銀行，スルガ銀行， 清水銀行，大垣共立銀行，十六銀行，愛知銀行， 名古屋銀行，百五銀行，三十三銀行 他	取扱い金融機関の pay-easy マークの付いたATMで支払うことができます。

【インターネット出願登録に関わる注意事項】

- ・「出願受付番号」は，受験番号ではありません。
- ・インターネット出願登録完了後は，登録内容の修正・変更は一切できませんので誤入力のないよう注意してください。検定料支払い前に誤入力等に気がついた場合は，検定料を支払わずに，もう一度新たに最初から登録をやり直してください。
- ・インターネット出願登録完了後，支払い期限までに検定料の支払手続きが行われなかった場合，出願受付は完了しません。

(6) 入学検定料の返還について

出願書類を受理した後は、次の場合を除き、納入した入学検定料は返還できません。

- ① 入学検定料を払い込んだが、出願しなかった又は出願書類が受理されなかった場合（返還額：17,000円）
- ② 入学検定料を誤って二重に払い込んだ場合（返還額：17,000円）
- ③ 出願受付後に、大学入学共通テスト受験教科・科目の不足等による出願無資格者であることが判明した場合（返還額：13,000円）
- ④ 医学部医学科の第1段階選抜で不合格となった場合（返還額：13,000円）

〈上記①、②の返還請求方法〉

本学ウェブサイトの「入試情報」(URL: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>)に掲載されている「入学検定料の返還について」に従って、返還手続きを速やかに行ってください。

URL: <https://www.mie-u.ac.jp/exam/folder/folder/index.html>

〈上記③、④の返還請求方法〉

本学から該当者に返還に必要な書類を送付します。

(7) 入学検定料の免除について

三重大学（以下「本学」という。）では、地震、事故及び台風等で被災された方の経済的負担を軽減し、受験機会を提供するために、令和7年度の入学者選抜に係る検定料について、次のとおり免除の特例措置を講じます。

〔対象者〕

免除対象となる入学者選抜試験に志願者のうち、次のいずれかに該当される方を対象とします。

- (1) 令和6年能登半島地震等（平成23年度以降の激甚災害指定）により被災し、次のいずれかに該当される方を対象とします。
 - ①志願者の学費負担が災害救助法適用地域において被災し、家屋等が全壊、大規模半壊、半壊、流出の被害を受けた方
 - ②学費負担者が災害等により死亡又は行方不明の方
 - ③学費負担者が災害等により失職した方
 - ④居住地が東京電力福島第一原子力発電所の事故により、避難指示解除準備区域、居住制限区域及び帰還困難区域に指定された方
- (2) その他災害救助法に照らして、本学学長が該当すると認めた方

上記に該当される方は、「検定料免除申請書」を本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「入学検定料免除の特例措置について」からダウンロードし、関係書類を添え出願書類に同封して令和7年1月20日(月)までに（必着）申請してください。書類の提出に関する問い合わせ等は、平日8時30分から17時15分の間に学務部入試チーム（電話059-231-9063）まで連絡してください。

(8) 提出が必要な出願書類等

インターネット出願登録後、以下のとおり必要な書類を郵送してください。

本学の前期日程と後期日程を併願する者は、試験日程別に必要書類を取り揃え、別々の封筒に封入し、それぞれ個別に郵送してください。

出願書類等	対象者	摘 要
① 出願確認票	全 員	インターネット出願サイトの出願登録完了画面から出願確認票を印刷してください。なお、以下の点に留意して提出してください。 【大学入学共通テスト成績請求票】 <u>所定の欄の枠内に大学入試センターから交付を受けた有効な令和7年度大学入学共通テスト成績請求票（前期日程に出願する場合は「<u>前</u> 国公立前期日程用」、後期日程に出願する場合は「<u>後</u> 国公立後期日程用」）を貼り付けてください。</u> 【写真】 出願日前3ヶ月以内に撮影した、無背景、3分身、無帽、正面向きのものをインターネット出願サイトにアップロードしてください。

出願書類等	対象者	摘 要
②調査書（厳封のもの） ※外国語によるものは日本語の訳を付けてください。 ※調査書等と現在の姓が異なる場合は、改姓の事実が確認できる証明書等を提出してください。 ※過年度卒業生については、従前の様式による調査書の提出を認めます。	全 員	次の(1)～(7)のいずれかを提出してください。 (1)出身高等学校又は中等教育学校を卒業した者及び令和7年3月卒業見込みの者は、高等学校又は中等教育学校において文部科学大臣の定めた様式により出願日前の6か月以内に作成した調査書を提出してください。 (2)高等専門学校第3学年修了者及び文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者は、出身校において文部科学省が定めた調査書に準じて作成したものを提出してください。 (3)高等学校卒業程度認定試験合格者（大学入学資格検定合格者を含む。）は、「合格証明書」及び「合格成績証明書」を提出してください。 ただし、高等学校等において科目を修得したことにより受験科目の一部を免除された場合は、その免除された科目の高等学校の調査書又は成績証明書を提出してください。 (4)外国において学校教育における12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣が指定したもの、国際バカロレア資格取得者、アビトゥア資格取得者、バカロレア（フランス共和国）取得者及び文部科学大臣の指定を受けた専修学校の高等課程の学科を修了（見込み）した者は、調査書に代えて成績証明書を提出してください。 (5)出身学校の事情（廃校及び被災者を含む。）により、出身学校長の調査書が得られない場合は、卒業証明書、成績通知表、成績通信簿及びその他志願者が提出できる書類のいずれかを、調査書に代えて提出してください。 (6)本人が被災等により(5)の書類も整えられない場合は、出身学校を所管する教育委員会、知事又は出身学校長が作成した(5)の下線部で示す証明書に記載されている内容を証明できる書類を提出してください。 (7)上記(1)～(6)に該当しない者については、本学学務部入試チーム（電話059-231-9063）へ提出書類を確認の上、提出してください。 ただし、5ページの出願資格⑥によって、本学の個別入学資格審査を受け認定を受けた者については、既に関係書類を提出済のため提出を要しません。 (8)その他 ※1 教育学部の音楽教育、美術教育の各コースを志願する者のうち、能力・適性等、特に高等学校長等が推薦できる者については、その旨（各種コンクール等において、特に優秀な成績を収め、推薦に値すると認められる等）を「備考」欄に具体的に記入してください。 ※2 工学部一般選抜「後期日程」の各コース（建築学コース除く）を志願する者のうち、前述の(3)から(6)に該当する者については、工学部所定の様式書類を提出してください。
③教員志望確認書	該当者のみ	<u>教育学部（前期日程、後期日程）を志願する者は、必ず提出してください。</u>
④選択曲目等申告書等		<u>教育学部音楽教育コース（前期日程、後期日程）を志願する者は、「選択曲目等申告書」を提出してください。</u> なお、移調楽譜、演奏楽譜のコピー等あれば必ず提出してください。（38～40、44～46ページ参照）
⑤競技成績等調書、健康状態調査		<u>教育学部保健体育コース（前期日程、後期日程）を志願する者は必ず提出してください。</u>
⑥履歴書		<u>医学部医学科を志願する者は、必ず提出してください。</u> （令和7年3月卒業見込みの者を含む）
⑦誓約書・同意書		<u>医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠を志願する者は、必ず提出してください。</u>
⑧入学資格認定証（写）		5ページの「3出願資格等」(3)の⑥による出願者は提出してください。

出願書類等	対象者	摘 要
⑨健康診断書		出願期間中に外国に居住している者（日本国籍を有する者を含む）で、受験するために渡日する者は、健康診断書（本学所定の用紙）を提出してください。健康診断書は、出願期間の初日の時点から起算して6か月以内に海外の医療機関において公式に作成されたものとします。健康診断書の様式は、本学ウェブサイトの入試情報（URL）https://www.mie-u.ac.jp/exam/よりダウンロードしてください。 健康診断書の判定は次のとおり行います。 本学保健管理センターにおいて健康診断書を確認し、結核感染等が確認された場合には、入学試験期日の2週間前までに新たに健康診断書を提出し、「感染のおそれがない」と認められない限り、入学試験を受験することはできません。 上記の事由により、受験できなかった者については、入学検定料を返還いたします。

注意事項

出願書類③教員志望確認書、④選択曲目等申告書、⑤競技成績等調書、健康状態調査、⑥履歴書、⑦誓約書・同意書の様式は、本学ウェブサイトの「入試情報」よりダウンロードしてください。（学生募集要項とともに掲載しています。）

〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/>

(9) 提出が必要な出願書類等の提出先及び提出方法

① 提出封筒の準備

志願する日程（「前期日程」、「後期日程」）の封筒及び必要書類を用意し、提出してください。

「前期日程」、「後期日程」の両方に提出する場合は、それぞれ用意してください。

ア. 必ず、角形2号封筒（横24cm×縦33.2cmでA4サイズの書類を折らずに入れることができる封筒）を使用してください。

長形3号封筒（横12cm×縦23.5cm）等は使用できません。

イ. 出願登録完了画面から「封筒貼付用ラベル」を印刷し、アの封筒の表（宛名）面に貼付してください。

② 提出が必要な出願書類等の封入

8ページの(8)提出が必要な出願書類等を確認し、封入してください。

なお、出願書類等は、左上の部分を大きめのゼムクリップ（ホッチキスは使用しない）でとめてから封入してください。

③ 書留速達郵便で送付

6ページの(2)出願期間等の「出願期間（提出が必要な出願書類等の郵送）」の郵送期間内に、**書留速達郵便**で郵送してください。

速

達

見 本

切 手
貼 付

5

1

4

-

8

5

0

7

三重県津市栗真町屋町1577

三重大学
学務部入試チーム

御中

書

留

折曲厳禁

一般選抜 前期日程 出願書類在中

以下の書類がそろっているか必ず確認してから封入してください。

<全員提出する書類>

☐ 出願確認票【大学提出用】☐ 大学入学共通テスト成績請求票（出願確認票の所定の位置に貼付）☐ 調査書（高等学校長若しくは中等教育学校長厳封のもの）

<該当者のみ提出する書類>

☐ 教員志望確認書（教育学部志願者のみ）☐ 選択曲目等申告書（教育学部音楽教育コース志願者のみ）☐ 楽譜（教育学部音楽教育コース志願者の該当者のみ）☐ 競技成績等調書・健康状態調査（教育学部保健体育コース志願者のみ）☐ 履歴書（医学部医学科志願者のみ）☐ 誓約書（医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠志願者のみ）☐ 同意書及び本人確認書類（写）（医学部医学科前期日程の三重県地域医療枠志願者のみ）☐ 三重大学入学資格認定書（写）（該当者のみ）☐ 健康診断書（出願期間中に外国に居住している者（日本国籍を有する者を含む））等

郵便局引受番号

差出人	志望学部	工学部		
	第1志望の 学科・コース	総合工学科電気電子工学コース		
	受験科目	数学 理科（物理基礎・物理）	試験場	三重大学
	住所	〒100-0001 東京都千代田区千代田 1-1-1		
	氏名	ミエダイ タロウ 三重大 太郎		

一般選抜 前期日程

登録日:2024年10月18日
出願受付番号:3017-007176

出願者	氏名	三重大 太郎
	氏名(カナ)	ミエダイ タロウ
	生年月日	2006年4月2日
	性別	男



※受験番号



※印欄は記入しないでください

通知先	郵便番号	100-0001
	住所	東京都千代田区千代田1-1-1
	電話番号1	080-1234-5678
	電話番号2	
	メールアドレス	dummy@d.com
その他連絡先	氏名	三重大 花子
	携帯電話	090-1234-5678

＜決済内容＞

払込金額 ※ 17,700円

※一度に複数の志願票で出願を行った場合は、出願確認票の＜出願内容＞に記載された金額の総額が払込金額に記載されています。

出願資格	出身学校名	三重県 都道府県立 津 (高等学校)
	卒業(見込み)年月	2025年3月
	区分	卒業見込み

大学入学共通テスト成績請求番号

111111-1111A-1

大学入学共通テスト成績請求票貼付欄

前

令和7年度共通テスト成績請求票

国公立 前期日程 用

この枠に合わせてはがれないように、
のりで貼り付けてください。【注】「大学入学共通テスト成績請求票貼付欄」に
共通テスト成績請求票を必ず貼り付けること。

＜出願内容＞

試験日	試験	志望順位	志望学部	学科・コース	受験科目	試験場	金額
募集要項参照	一般選抜 前期日程	第一志望	工学部	総合工学科電気電子工学コース	数学 理科 (物理基礎・物理)	三重大学	17,000円
		第二志望	工学部	総合工学科機械工学コース			
合計							17,000円

医学部医学科志望枠

医学部看護学科志望枠

6. 出願上の注意事項

- (1) 本学の「前期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部（※独自日程で入学者選抜を行う公立大学・学部を除く。以下同じ。）の「前期日程」に出願することはできません。
また、本学の「後期日程」に出願する者は、他の国公立大学・学部の「後期日程」に出願することはできません。 ※公立大学協会ホームページ（<URL> <https://www.kodaikyo.org>）参照
- (2) 本学の学部間においても、「前期日程」から一つ、「後期日程」から一つの合計二つの学部又は同一学部の学科・課程等に出願することができます。
- (3) 国公立大学の前期日程試験に合格し、令和7年3月15日(出)までに入学手続を行った者は、国公立大学の後期日程試験を受験してもその合格者となりません。
- (4) 国公立大学・学部の学校推薦型選抜及び総合型選抜の合格者は、当該大学・学部の定める入学辞退手続により入学辞退を許可された場合を除いて、他の国公立大学の一般選抜を受験しても、その大学・学部の合格者とはなりません。
- (5) 出願にあたっては、志願する学部・学科・課程・コースが指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験しているか、必ず志願者本人が確認してください。出願受付後に、独立行政法人大学入試センターから大学入学共通テストの成績提供を受けた結果、志願する学部・学科・課程・コースが指定する大学入学共通テストの教科・科目を受験していないことが判明した場合は、出願無資格者となり、本学個別学力検査を受験することはできません。
- (6) 大学入学共通テスト受験票・写真票・成績請求票の再発行を受けた場合には、当初発行の受験票・成績請求票は無効となりますので使用しないでください。必ず、再発行されたものを使用してください。
- (7) いったん受理した出願書類は、いかなる理由があっても返還しません。

7. 「入試過去問題活用宣言」への参加について

本学は、「入試過去問題活用宣言」に参加しています。

- (1) 本学の入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）に沿った選抜を実現するため、必要と認める範囲で「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用して出題することがあります。
- (2) 「入試過去問題活用宣言」についての詳細及び参加大学の一覧は、以下の「入試過去問題活用宣言」ホームページをご確認ください。
<URL> <https://www.nyushikakomon.jp/>
- (3) 入試過去問題は、そのまま使用する場合も一部改変して使用する場合があります。また、必ず使用するとは限りません。
- (4) 入試過去問題を使用した場合は、全ての入学者選抜終了後、本学ウェブサイトの「入試情報」にて公表します。

8. 障害等のある入学志願者との事前相談について

本学一般選抜（前期日程・後期日程）の入学志願者で、疾病・負傷や身体障害のため、受験上及び修学上の配慮を必要とする者は、令和6年12月6日(金)までに下記の申請先に事前相談の申請をしてください。

また、相談の時期後に本学を志願することとなった場合及び不慮の事故等により障害等を有することとなった場合は、その時点で速やかに相談してください。

事前相談は障害等のある志願者に本学の現状をあらかじめ知っていただき、受験及び修学に関してより良い方法やあり方を模索するためのもので、障害のある方の受験や修学を制限するものではありません。

(1) 申請方法

電話によりあらかじめ学務部入試チームに連絡した上で、本学ウェブサイトの「入試情報」の「障害等のある入学志願者の出願前相談申請について」より申請してください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/faculty/disabled-person/>

また、参考として「医師の診断書（写）」、「障害者手帳（写）」、「大学入学共通テスト受験上の配慮事項決定通知書（写）」等をメールにて提出してください。

(2) 申請先

三重大学学務部入試チーム

事前相談の対象となる者【参考】

区 分	対象となる者
① 視 覚 障 害	・点字による教育を受けている者 ・両眼の矯正視力がおおむね0.3未満の者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・視力以外の視機能障害が高度な者のうち、拡大鏡等の使用によっても通常の文字、図形等の視覚による認識が不可能又は著しく困難な程度の者 ・上記以外で視覚に関する配慮を必要とする者
② 聴 覚 障 害	・両耳の平均聴力レベルが60デシベル以上の者 ・上記以外で聴覚に関する配慮を必要とする者
③ 肢 体 不 自 由	・体幹の機能障害により座位を保つことができない者又は困難な者 ・両上肢の機能障害が著しい者 ・上記以外で肢体不自由に関する配慮を必要とする者
④ 病 弱	・慢性の呼吸器疾患、心臓疾患、腎臓疾患、消化器疾患等の状態が継続して医療又は生活規制を必要とする程度の者又はこれに準ずる者
⑤ 発 達 障 害	・学習障害、注意欠陥多動性障害、自閉症、アスペルガー症候群、広汎性発達障害等のため配慮を必要とする者
⑥ そ の 他	・①～⑤の区分以外の者で配慮を必要とする者

「注」日常生活においてごく普通に使用されている補聴器、松葉杖、車椅子等を使用して受験する場合も、試験場設定等において何らかの配慮が必要となる場合がありますので、事前に相談してください。

(3) 受験上の配慮の例

・試験場への乗用車の入構	・試験室を別室に設定
・車椅子の使用	・座席を最前列／最後列／出入口近く等に設定
・補聴器の使用	・試験室を障害者用トイレ近くに設定
・連絡事項の文書による伝達	・試験時間の延長

三重大学の取り組み

本学では、「三重大学における障害のある学生の支援に関する基本方針」を定めており、各学部及び学内関連組織と連携を図りながら、学生支援に取り組んでいます。詳細は以下のウェブページをご参照ください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/support/education/shogai-shien-policy.html>

9. 受験票及び受験案内について

令和7年2月12日(水)17時頃に受験票及び受験案内の印刷が可能になります（詳細はメールでお知らせします）。再度、インターネット出願サイトにアクセスし、受験票及び受験案内を白色のA4用紙で印刷し、内容を熟読の上、試験当日必ず持参してください。本学からの受験票及び受験案内の交付（郵送）はありません。

受験票及び受験案内を印刷したら、受験者氏名等が出願した内容と相違ないか確認してください。

万一、記載内容に誤りがある、または出願手続きしたが2月12日(水)18時を過ぎても印刷できない場合には、三重大学学務部入試チーム（電話：059-231-9063）まで連絡してください。

※医学科2段階選抜実施に係る受験票等の詳細については、医学科の該当ページ（50、54ページ）をご覧ください。

10. 受験に際しての注意事項（共通的な事項）

- (1) 試験当日は、「本学受験票」、「受験案内」及び「令和7年度大学入学共通テスト受験票」を必ず携帯し、試験室では「本学受験票」及び「令和7年度大学入学共通テスト受験票」を机の上に置いてください。携帯しない場合には、試験室へ入室することはできません。
- (2) 不測の事態の発生により、当初の予定どおり試験を実施できなくなった場合は、本学ウェブサイトの「入試情報」（〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>）及びスマートフォン・携帯電話サイト（〈URL〉 <https://daigaku.jp/mie-u/>）にてお知らせします。
- (3) 試験当日は、試験開始時刻の30分前に到着して、当該試験場の掲示を熟読してください。
また、休憩時間及び試験終了後にも掲示に注意してください。
- (4) 試験当日は、試験開始時刻の20分前に入室し、机に表示されている受験番号を確認して着席し、監督者の指示に従ってください。

[教育学部実技検査受験者]

音楽教育コース受験者 美術教育コース受験者	試験開始時刻の30分前までに指定する場所に集合してください。
保健体育コース受験者	試験開始時刻の60分前までに指定する場所に集合してください。

[工学部総合工学科建築学コース（後期日程）受験者]

試験開始時刻の40分前に試験室に入室してください。

- (5) 試験開始時刻に遅れた場合は、係員に申し出て指示を受けてください。試験開始後30分を経過した場合は当該教科及びその後の受験は認めません。
- (6) 試験開始から試験終了までは、試験室からの退室を認めません。試験中の体調不良又はトイレ等やむを得ない場合には、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
ただし、一時退室が認められた場合でも、試験室以外での受験はできません。また、一時退室した分の試験時間の延長も認めません。
- (7) 試験中は、机の上には、受験票、黒鉛筆（シャープペンシル可）、鉛筆キャップ、プラスチック製の消しゴム、鉛筆削り（電動式・大型のもの・ナイフを除く。）、時計（辞書、電卓、端末等の機能があるもの・それらの機能の有無が判別しづらいもの・秒針音のするもの・キッチンタイマー・大型のものを除く。）、眼鏡、ハンカチ、ティッシュペーパー（袋又は箱から中身だけ取り出したもの）、目薬以外の所持品を置いてはいけません。なお、事情によっては、文字の書いていない下敷きの使用を認めることがあります。
- (8) 携帯電話等の電子機器類は試験室に入る前に必ずアラームの設定を解除し電源を切っておいてください。

試験時間中は、携帯電話等の電子機器類はかばん等にしまう必要があります。試験時間中に、これらをかばん等にしまわず、身につけていたり手に持っていたりすると不正行為となることがあります。

- (9) 質問等がある場合は、自席で挙手し監督者の指示に従ってください。
- (10) 試験場の下見は、以下のとおりとし、建物及び試験室への入室はできません。
- 前期日程：2月21日(金) 13時～16時
- 後期日程：3月11日(火) 13時～16時
- (11) 本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、必ず公共の交通機関を利用してください。

なお、周辺地域への交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。

また、周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。

万が一、他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合、警察に通報させていただくことがあります。

「注意事項」

「受験票」・「受験案内」は、インターネット出願サイトにアクセスし、白色のA4用紙に印刷の上、試験当日必ず持参してください。

11. 不正行為の取扱いについて

- (1) 次のことをすると不正行為となります。不正行為を行った場合は、その場で受験の中止と退室を指示され、それ以後の受験はできなくなります。また、受験したすべての教科・科目の成績を無効とします。その他状況によっては警察に被害届を提出する場合があります。
- ① インターネット出願登録の際に虚偽の情報を入力したり、出願確認票に本人ではない写真を貼ったり、解答用紙に虚偽の記入をすること。
 - ② カンニング（カンニングペーパー・参考書・他の受験者の答案等を見ること、他の人から答えを教わることなど）をすること。
 - ③ 他の受験者に答えを教えたりカンニングの手助けをしたりすること。
 - ④ 配付された問題冊子を、その試験時間が終了する前に試験室から持ち出すこと。
 - ⑤ 解答用紙を試験室から持ち出すこと。
 - ⑥ 解答開始の指示の前に、問題冊子を開いたり解答を始めたりすること。
 - ⑦ 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）、電子辞書、及びICレコーダー等の電子機器類を使用すること。
 - ⑧ 試験時間中に、コンパス、電卓、そろばん、グラフ用紙等の補助具を使用すること。
 - ⑨ 解答終了の指示に従わず、鉛筆や消しゴムを持っていたり解答を続けたりすること。
- (2) 上記(1)以外にも、次のことをすると不正行為となることがあります。指示等に従わず、不正行為と認定された場合の取扱いは、上記(1)と同様です。
- ① 試験時間中に、携帯電話、スマートフォン、ウェアラブル端末（スマートウォッチやスマートグラス等）等の電子機器類やコンパス、電卓等の補助具をかばん等にしまわず、身に付けていたり手に持っていたりすること。
 - ② 試験時間中に携帯電話や時計等の音（着信・アラーム・振動音など）を鳴らすなど、試験の進行に影響を与えること。
 - ③ 試験に関することについて、自身や他の受験者を利するような申し出をすること。
 - ④ 試験場において他の受験者の迷惑となる行為をすること。
 - ⑤ 試験場において監督者等の指示に従わないこと。
 - ⑥ その他、試験の公平性を損なうおそれのある行為をすること。

12. 個別学力検査等の試験場

試験場は、出願期間終了後に決定し、受験票に記載しますので、必ず確認してください。

(1) 前期日程

前期日程の試験場は、次のとおり三重大学内の各学部と共通教育校舎等の建物を使用する予定です。
なお、各自が受験する試験場については、受験票に記載しますので、必ず確認してください。

試験場	建 物 名 称
第1試験場	生物資源学部校舎
第2試験場	教育学部校舎
第3試験場	共通教育校舎1号館・2号館
第4試験場	共通教育校舎3号館，人文学部校舎
第5試験場	工学部校舎
第6試験場	医学部校舎

「注」試験場は、志望学部の建物とは限りませんので、注意してください。

(2) 後期日程

後期日程の試験場は、次のとおり三重大学内の各学部及び共通教育校舎の建物を使用する予定です。
なお、各自が受験する試験場については、受験票に記載しますので、必ず確認してください。

試験場	建 物 名 称
第1試験場	生物資源学部校舎
第2試験場	教育学部校舎
第3試験場	共通教育校舎1号館・2号館
第4試験場	共通教育校舎3号館，人文学部校舎
第5試験場	工学部校舎
第6試験場	医学部校舎

「注」試験場は、志望学部の建物とは限りませんので、注意してください。

(3) 本学試験場への自動車の入構について

本学試験場へは、試験当日、事前に許可された者以外の受験者は自動車での入構はできませんので、必ず公共の交通機関を利用してください。

なお、周辺地域への交通渋滞防止の観点から、自家用車による送迎はご遠慮願います。

また、周辺商業施設及び道路への無断駐停車は絶対に行わないでください。

万が一、他車の通行の妨げとなる等の迷惑行為が発見された場合、警察に通報させていただくことがあります。

(4) 臨時バスの運行計画（予定）等について

前期日程の第1日目（2月25日）のみ、以下のとおり運行します。前期日程の第2日目（2月26日）、後期日程（3月12日）は臨時バスを運行しません。

運 行 経 路	運 行 時 間	
津駅前 → 三重大学前	7：30 ～ 9：00	津駅前バスのりば（津駅東口） 「4番のりば」に配車します。
三重大学 → 津駅前	14：00 ～ 17：40	正門付近に配車します。

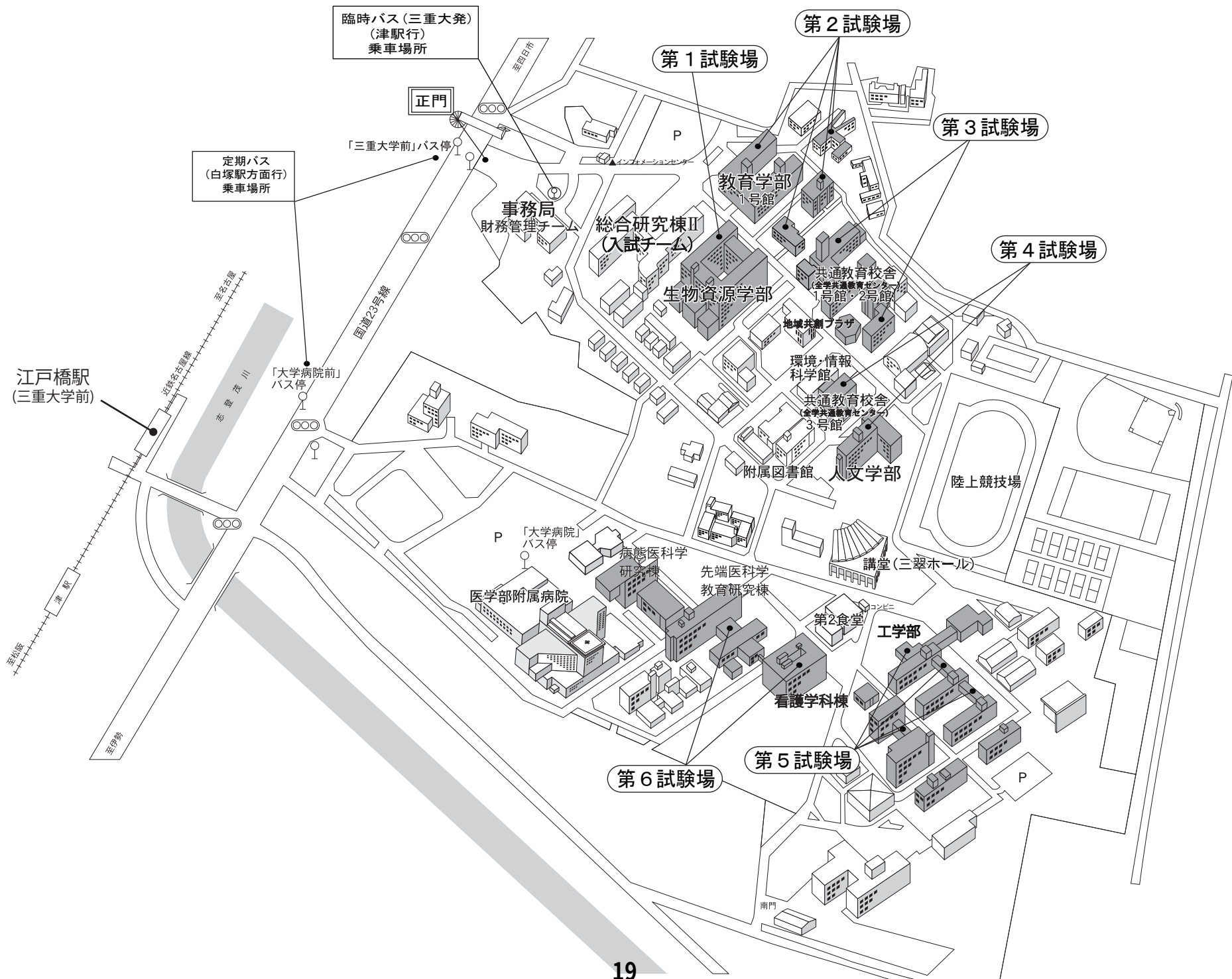
「注」試験当日は朝の交通渋滞が予想されますので、注意してください。

(5) 試験場案内，試験場への経路



【試験場への経路】

- ① 近鉄江戸橋駅（急行停車駅）下車徒歩約15分
- ② JR東海，近鉄津駅（特急・急行停車駅）下車
津駅前バスのりば（津駅東口）「4番のりば」からバスで約10分
三重交通バス「白塚駅」，「棕本」，「豊が丘」，「サイエンスシティ」，「三重病院」，「東豊野」
「高田高校前」行きに乗車
「大学病院前」又は「三重大学前」で下車



13. 受験時の宿泊案内

本学での受験に際し宿泊を必要とする方は、各自で旅館等を予約してください。

なお、下記の機関を利用して予約することもできます。

【参考】

○津市ホテル旅館料理組合

〒514-0035 津市西丸ノ内202

ウェブサイト <URL> <https://www.e-tsu.net>

TEL 059-228-9029

FAX 059-228-9029

14. 合格発表

- (1) 合格者の発表は、次表のとおり行います。

学部	日程	前期日程	後期日程	発表方法
人文学部 教育学部 医学部 工学部 生物資源学部		令和7年3月7日(金) 10時頃	令和7年3月21日(金) 16時頃	本学ウェブサイトの 「入試情報」

- (2) 合格者の受験番号を本学ウェブサイトの「入試情報」に合格発表後から各日程の入学手続締切日まで掲載します。

多数のアクセスにより応答が遅くなったり、回線等の障害が発生し閲覧できなくなったりすることもありますので、ご留意願います。なお、掲示による発表は行いません。

本学ウェブサイトの「入試情報」： <URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

電話等による可否の問い合わせには、一切応じられません。



- (3) 合格者には、合格通知書及び入学手続に必要な書類等を、合格発表後に郵送（発表当日の発送（速達））します。

15. 入学手続

入学手続期間及び手続方法・手続場所等については以下のとおりです。

なお、入学手続の詳細については、一般選抜合格者に対して送付する案内文書により通知します。

(1) 入学手続期間及び手続方法・手続場所

区 分	入学手続期間及び手続方法	手 続 場 所（予定）
前期日程	【郵送（書留速達）の場合】 令和7年3月10日(月)～3月14日(金) (3月14日(金) 17時までに本学必着)	
	【持参の場合】 令和7年3月15日(土) 10時～17時	各学部学務担当
後期日程	【郵送（書留速達）の場合】 令和7年3月24日(月)～3月26日(水) (3月26日(水) 17時までに本学必着)	
	【持参の場合】 令和7年3月27日(木) 10時～17時	各学部学務担当

(2) 留意事項

- ① 所定の入学手続期間内に入学手続を完了しない合格者は、入学を辞退したものとして取扱います。
- ② 合格者は、本学に入学手続を行った後、これを取り消して他の国公立大学に入学手続を行うことはできません。

(3) 入学手続に必要な書類等

- ① 令和7年度大学入学共通テスト受験票
- ② 令和7年度三重大学受験票
- ③ 卒業証明書（令和7年3月卒業者のみ）
- ④ 入学料 282,000円（※納入した入学料は、いかなる理由があっても返還しません。）
- ⑤ 別途指示する書類等

（「三重大学入学手続きホームページ」及び「入学手続要項」を熟読してください。）

「注」入学料及び授業料の免除、徴収猶予を希望する者は、入学料、授業料を納付する前に申し出てください。

(4) その他必要となる諸経費について

- ① 授業料 前期分 267,900円（年額 535,800円）
（※在学中に授業料の改定を行った場合には、改定した新授業料が適用されます。）

② その他諸経費

(a) 個人用ノートパソコン

三重大学では個人用ノートパソコン必携化の制度が導入されています。入学の際にはノートパソコンをご準備いただく必要がございますので、あらかじめご了承ください。詳細については、25ページを参照してください。

(b) 学生保険

本学が指定する保険に加入していただきます。実習など授業形態が異なるため、保険の内容及び金額については、学部や学科等により異なります。

(c) 教科書代等

授業に必要な費用が生じることがあります。

(d) 同窓会費等

入学する学部や学科等によって内容や金額は異なります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

上記(a)～(d)の諸経費以外にも学部や学科等によりその他の費用が発生する場合があります。詳細は入学手続きの際にご確認ください。

16. 追加合格，欠員補充第2次募集

(1) 追加合格

令和7年3月27日(木)までに，入学手続き完了者が入学定員に満たない学部・学科等においては，追加合格により欠員を補充します。対象は，いずれの国公立大学にも入学手続きを行っていない者です。

追加合格該当者には，令和7年3月28日(金)から3月31日(月)までの間に，当該学部から電話により出願確認票に記載の連絡先にお知らせします。不合格となった場合でも，連絡の取れる状態にしてください。

追加合格者の入学手続きは，電話連絡した際にお知らせします。

なお，既に他の国公立大学へ入学手続きを完了した者は，これを取り消して本学へ入学手続きを行うことはできません。

(2) 欠員補充第2次募集

追加合格により欠員を補充しても，入学手続き完了者が入学定員に満たない場合，欠員補充のための第2次募集を実施します。

欠員補充第2次募集に出願できるのは，下記①～②のいずれかに該当する者です。

①大学入学共通テストを受験し，「後期日程」の合格者発表がなされた時点で，いずれの国公立大学にも合格していない者（いずれの国公立大学にも出願していない者を含む）

②大学入学共通テストを受験し，「後期日程」の合格者発表がなされた時点で一つ又は二つの国公立大学に合格していたが，第2次募集出願時にいずれの国公立大学にも入学手続きを行っていない者

また，この欠員補充第2次募集に出願することができるのは，一つの大学・学部のみです。

欠員補充第2次募集の出願後，他の国公立大学へ入学手続きを行った場合は，受験をしても入学許可は得られません。

追加合格，欠員補充第2次募集の実施状況等については，本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

17. 一般選抜実施状況

過去5年間の一般選抜実施状況〔志願者数・受験者数・合格者数・辞退者数・入学者数〕については，本学ウェブサイトの「入試情報」の「入試データ」にて掲載しています。

〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/general/>



18. 入試成績の開示について

(1) 開示内容

開示項目	開 示 内 容
入学試験 個人成績	開示内容 大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）、個別学力検査の教科ごとの得点と合計点及び総合得点（大学入学共通テスト成績と個別学力検査の合計点）並びに総合得点の順位^(注)を開示します。 医学部医学科の２段階選抜における第１段階選抜の成績開示については、第１段階選抜不合格者に対してのみ、大学入学共通テストの教科・科目ごとの得点と合計点（本学の配点に換算した点数）及び順位^(注)を開示します。 また、面接の評価は、教育学部及び医学部受験者のみ開示します。なお、教育学部の「教員志望確認書」の評価については、開示しません。 合格者は、合格した学科（課程・コース）等の総合得点、不合格者は第１志望の学科（課程・コース）等の総合得点を開示します。 なお、いずれの選抜においても、試験を全部または一部欠席した場合は開示しません。 （注）順位 正規合格者については、当該学科（課程・コース）等の順位を「A」（上位１／３）「B」（中位１／３）「C」（下位１／３）でランクを付けて開示します。 なお、合格者が10名に満たない場合は、順位は開示しません。 不合格者については、第１志望の学科（課程・コース）等の順位を正規合格者の合格最低点から20点刻みでアルファベット順にランクを付けて開示します。 追加合格者及び追試験受験者の順位については、開示しません。

(2) 開示の方法

以下のとおり三重大学入試成績開示オンライン申請サイトでの申請を受け付けます。

① 申請期間

令和７年４月中旬～５月末

② 申請方法

三重大学入試成績開示オンライン申請サイトから受験者本人が申請してください。

③ 申請に必要な書類

本学受験票

※成績開示申請の際、本学受験票が必要ですので、紛失しないように大切に保管してください。

本学受験票を紛失した場合は、４月中に三重大学「インターネット出願サイト」で受験票を再発行してください。再発行できない場合は入試チームに相談してください。

④ 交付の方法

開示通知書は、本学より郵送（簡易書留郵便）にて交付します。

⑤ 交付時期

６月末頃に発送します。

⑥ 成績開示に係る料金について

成績開示を希望する場合は、別途成績開示手数料（郵送代含む）が必要となります。

詳細については、令和7年3月末頃に本学ウェブサイトの「入試情報」の「入試成績開示」にて掲載予定です。成績開示を希望する場合は、必ず確認の上、手続きを行ってください。

「入試成績開示」〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/exam/data/disclosure/>



19. その他

本学学生募集要項に明記されている内容や期日による試験実施が困難となるような不測の事態が発生した場合は、本学ウェブサイト（〈URL〉 <https://www.mie-u.ac.jp/>）に対応の詳細を速やかに掲載します。

なお、不測の事態が発生した場合の問い合わせ先は、三重大学学務部入試チーム（電話 059-231-9063）です。

20. 個人情報の利用目的について

(1) 本学における個人情報の利用

本学が入学選抜を通じて取得した個人情報の利用目的は次のとおりです。

- ① 入学選抜に関わる業務で利用します。
- ② 入試成績の開示に関する業務で利用します。
- ③ 検定料の返還が生じた際に関わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ④ 合格者の住所・氏名等を入学手続に関わる業務、その他志願者への連絡業務で利用します。
- ⑤ 入学手続者の住所・氏名等を入学後の学籍管理等の修学に関わる業務並びに健康診断等の保健管理に関わる業務で利用します。
- ⑥ 入学手続者の住所・氏名等を入学料並びに授業料徴収等の納付金管理に関わる業務で利用します。
- ⑦ 入学選抜で取得した成績等の個人情報を、1年次における入学料免除及び授業料免除並びに奨学生選考等の修学支援に関わる業務で利用します。その他、一部の授業科目におけるクラス編成に利用する場合があります。
- ⑧ 入学手続者の修学指導等に関わる業務に利用します。
- ⑨ 個人が特定できない形で、統計処理等に付随する業務並びに本学における入学選抜に関する調査研究で利用します。
- ⑩ （対象者かつ希望者のみ）障害等のある入学志願者との事前相談において取得した氏名、性別、生年月日、住所及び障害等に係る個人情報を、本学に入学した場合に限り修学支援業務で利用します。

(2) 独立行政法人大学入試センターへの個人情報の提供

国公立大学の一般選抜における合格決定業務を円滑に行うため、合格者及び入学手続者の氏名、性別、生年月日、本学受験番号及び大学入学共通テストの受験番号が、独立行政法人大学入試センター及び合格者の併願先の国公立大学に提供されます。

本学が取得した個人情報は、法で定められた場合を除き、本人の同意を得ることなく、上記以外の目的で利用又は第三者に提供することはありません。

21. ノートパソコンの必携化

本学では情報教育の一環としてコンピュータを利用する授業が多く行われています。また，大学生活では，シラバス閲覧，履修登録から始まり，遠隔授業，レポート・プレゼンテーション資料の作成，インターネットの活用，eラーニングによる自習まで，日常的にパソコンを利用する必要があります。さらには，在学中に情報処理活用能力を身につけるには，パソコンの普段からの利活用が不可欠です。

本学では学部入学生は個人用ノートパソコン必携となっており，入学の際にはノートパソコンを準備又は購入いただくことになりますので，あらかじめご了承ください。持参可能なノートパソコンをすでにお持ちの場合は，新規購入は必須ではありません。

また，本学ではMicrosoft社との包括ライセンス契約により，在学中は無料でOfficeソフト（Word，Excel，PowerPoint，OneNoteなど），Office365のクラウドサービス，Windowsライセンスを利用可能です。したがって，Office付のノートパソコンやOfficeライセンスをご用意いただく必要はありません。

Ⅱ 学部別の事項

1 人文学部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

—このような人を求めます—

- 人間の文化、または、社会の動きやしくみに強い関心・好奇心をもっている人。
- 積極的・人間的に生きるために、人間の文化や社会について深く理解することを望む人。
- 現代社会における諸問題を理解し、解決策を探求しようとする意欲がある人。
- そのために必要な基礎学力、論理的思考力、読解力、表現力を持つ人。
- これらの力をさらに高めようとする意欲にあふれる人。

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

文化学科では、文化や社会を広く深く理解し考えるために必要な総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を課すとともに、個別学力検査（英語及び国語）を課し、論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

法律経済学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を課すとともに、個別学力検査（英語を必須とし、国語又は数学から1教科を選択の2教科2科目）を課し、論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

●一般選抜後期日程

文化学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を課すとともに、小論文によって論理的思考力や表現力を審査します。

法律経済学科では、総合的基礎学力を見るために大学入学共通テスト（6教科8科目又は7教科8科目）を課すとともに、小論文によって論理的思考力・読解力・表現力を審査します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

人文学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<人文学部>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		
後期日程	小論文	○		○		
	調査書					(総合判定の参考)

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募集人員
文 化 学 科	67名
法 律 経 済 学 科	100名
計	167名

2 試験時間割

【2月25日(火)】

時間 学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
文化学科					国 語 12:40～14:40 (120分)			外国語 15:50～17:10 (80分)	
法律経済学科		数 学 9:30～11:30 (120分)			国 語 12:40～14:40 (120分)			外国語 15:50～17:10 (80分)	

3 志望方法

文化学科、法律経済学科のいずれかの学科を選び、出願してください。

志望学科は、第1志望のみとします。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

学 科	教科	科 目 名 等	確認
文 化 学 科	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」から1又は2 } から2	
	公民		
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	理	「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
		〔6教科8科目又は7教科8科目〕	
法律経済学科	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」から1又は2 } から3	
	公民		
	理	「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1又は2	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
		〔6教科8科目又は7教科8科目〕	

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

学 科	教科等	科 目 名 等
文 化 学 科	国語	現代の国語・言語文化
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
法律経済学科	国語	現代の国語・言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から1
	数学	
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

学 科	試験の区分	国 語	地 理 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	配 点 計
文 化 学 科	共 通 テ ス ト	200	*200 *100	*100	200	100	200	30	930
	個別学力検査	300					300		600
	計	500	*200 *100	*100	200	100	500	30	1530
法律経済学科	共 通 テ ス ト	200	*200 *100	*100	200	*200 *100	200	50	950
	個別学力検査	*300			*300		300		600
	計	200 *500	*200 *100	*100	200 *500	*200 *100	500	50	1550

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 個別学力検査の採点・評価基準

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
文 化 学 科 法律経済学科	国 語	試験範囲は「現代の国語」・「言語文化」とし，高等学校学習指導要領に照らして，近現代の文章と古文・漢文から出題します。総合的な読解力・文章表現力に基づいた，大学での学びに必要な，論理的・文学的文章を理解し，その内容を表現する能力があるかどうかを評価します。具体的には，論理的文章の理解力及び物語文の構造と登場人物の心情の把握能力を考查し，また，漢字の運用能力や，現代文・古文の文法および漢文訓読の理解度，また文学に関する背景知識も確認します。
法律経済学科	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを，論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
文 化 学 科 法律経済学科	外 国 語	「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力や表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。

8 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。
人 文 学 部	同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。

〈後期日程〉

1 募集人員

学 科	募集人員
文 化 学 科	18名
法 律 経 済 学 科	33名
計	51名

2 試験時間割

【3月12日(水)】

時間 学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
文化学科 法律経済学科			小論文 10:00～12:00 (120分)						

3 志望方法

文化学科，法律経済学科のいずれかの学科を選び，出願してください。

志望学科は，第1志望のみとします。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

学 科	教科	科 目 名 等	確認
文 化 学 科	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2	} から2
	公民	「公，倫」・「公，政経」から1	
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	理	「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
〔6教科8科目又は7教科8科目〕			
法 律 経 済 学 科	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」から1又は2	} から3
	公民	「公，倫」・「公，政経」から1	
	理	「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1又は2	
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
〔6教科8科目又は7教科8科目〕			

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科等

学 科	教 科 等
文 化 学 科	小論文, 調査書
法律経済学科	小論文, 調査書

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

学 科	試験の区分	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	小論文	調査書等	配 点 合 計
文 化 学 科	共 通 テ ス ト	100	*60 *30	*30	20	20	100	10			310
	個別学力検査								200	(#3)	(#3) 200
	計	100	*60 *30	*30	20	20	100	10	200	(#3)	(#3) 510
法律経済学科	共 通 テ ス ト	100	*40 *20	*20	40	*40 *20	200	20			420
	個別学力検査								200	(#3)	(#3) 200
	計	100	*40 *20	*20	40	*40 *20	200	20	200	(#3)	(#3) 620

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 小論文の出題方針・内容

学 科	出 題 方 針 ・ 内 容
文 化 学 科	課題文をもとに、読解力・文章表現力と論理的思考力をはかる問題を出します。解答字数は、1,000～1,200字程度とします。
法律経済学科	現代の社会に関わる課題について論述（1,000～1,400字程度）させます。資料や文献を与えることもあります。

8 個別学力検査の採点・評価基準

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
文 化 学 科	小 論 文	人文科学における様々なテーマに関する理解力、論理的思考力、文章表現力を評価します。
	調 査 書	合否ラインに同点で並んだ場合、調査書を総合的に評価し順位をつけます。
法律経済学科	小 論 文	現代社会における諸問題に対する理解力、それに対する解決策を探究するための論理的思考力、問題解決力、表現力などを評価します。
	調 査 書	合否ラインに同点で並んだ場合、調査書を総合的に評価し順位をつけます。

9 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。
人 文 学 部	同点者は同順位とします。ただし、合否ライン上で総合得点が同点の場合は、調査書を総合的に評価し順位をつけます。

2 教育学部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

—このような人を求めます—

- 子どもと教育に関心を持ち、将来、教員になりたいと思っている人（関心・意欲・態度）
- 教育に関する専門的な知識・技能を学修する上で必要となる基礎学力を有している人（知識・理解）
- ものごとを多様な視点から捉え、論理的に考えようとする人（思考・判断）
- 自分の考えを的確に表現し、伝えようとする人（技能・表現）

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

志望するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テスト（6教科7科目、6教科8科目又は7教科8科目）を課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、読解力、表現力、関心、意欲及び各コースへの適正等を見るために、個別学力検査（国語、数学又は英語から2教科の筆記試験、実技試験及び調査書等）を課します。

●一般選抜後期日程

志願するコース・専攻で学修するために必要となる総合的基礎学力を見るために、大学入学共通テストを課します。また、論理的思考力・判断力、発想力、表現力、関心・意欲・態度及び各コースへの適性等を見るために、個別学力検査（実技試験、小論文、面接及び調査書等）を課します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

教育学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「（総合判定の参考）」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。また、「○」の後に（）で記載した内容は、特に（）の内容が重点評価対象項目であることを示しています。

<教育学部>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		○
	実技		○	○*		○*
	教員志望確認書					○（主体性を評価対象とします）
	競技成績等調書					（総合判定の参考）
後期日程	個別学力検査	○		○		○
	小論文			○		○
	面接			○*		○*
	実技		○	○*		○*
	教員志望確認書					○（主体性を評価対象とします）
	競技成績等調書					（総合判定の参考）

*一部のコースに限る

〈前期日程〉

1 募集人員

コ ー ス ・ 選 修 ・ 専攻		募集人員	コ ー ス ・ 選 修 ・ 専攻		募集人員
国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	11名	保 健 体 育 コ ー ス	初等教育選修	6名
	中等教育選修	7名		中等教育選修	5名
社 会 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	8名	技術・ものづくり教育コース	初等教育選修	5名
	中等教育選修	5名		中等教育選修	4名
数 学 教 育 コ ー ス	初等教育選修	11名	家 政 教 育 コ ー ス	初等教育選修	5名
	中等教育選修	10名		中等教育選修	5名
理 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	10名	英 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	6名
	中等教育選修	9名		中等教育選修	7名
音 楽 教 育 コ ー ス	初等教育選修	4名	特 別 支 援 教 育 コ ー ス		11名
	中等教育選修	3名	幼 児 教 育 コ ー ス		10名
美 術 教 育 コ ー ス	初等教育選修	6名	学 校 教 育 コ ー ス	教育学専攻	7名
	中等教育選修	3名		教育心理学専攻	7名
			計		165名

2 試験時間割

【2月25日(火)】

時間 コース	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
国語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術・ものづくり教育コース 家政教育コース 英語教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース		数 学 9:30～11:30 (120分)				国 語 13:00～14:40 (100分)			外国語 15:50～17:10 (80分)
音楽教育コース		実技 9:30～							
美術教育コース		実技 9:30～16:40							
保健体育コース		実技 10:00～							

3 志望方法

(1) 併願可能な課程・コース

学校教育教員養成課程の各コース（音楽教育、美術教育及び保健体育コースについては、「(2) 第1志望のみのコース」を参照。）から、最大で第3志望まで出願することができます。コースについては、第1志望から第3志望までに同じコースを複数回志望することはできません。

また、国語、社会科、数学、理科、技術・ものづくり、家政、英語の各教育コースでは、コース内で初等と中等教育選修のいずれか、もしくは両方を選択して、出願することができます。学校教育コースは、教育学専攻と教育心理学専攻のいずれか、もしくは両方を選択することができます。（最大で3コース6つの教育選修・専攻の併願が可能です。ただし、後述する「出願上の留意事項」に注意してください。）

※コースや選修を複数選択することによって、大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど
合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考）】

例 1 第 1 志望コース：国語教育コース（初等教育選修のみ）

第 2 志望コース：社会科教育コース（初等教育選修のみ）

第 3 志望コース：学校教育コース（教育学専攻のみ）

上記の内容で出願した場合、以下の①～③の順で合否判定が行われ、合格となった時点で判定は終了します。

判定順序	コース	選修・専攻	合否判定	
①	国語教育	初等教育	合判定	国語教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	_____
②	社会科教育	初等教育	合判定	社会科教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	_____
③	学校教育	教育学専攻	合判定	学校教育コース（教育学専攻）合格
			否判定	不合格

例 2 第 1 志望コース：理科教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

第 2 志望コース：数学教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

第 3 志望コース：家政教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

上記の内容で出願した場合、以下の①～⑥の順で合否判定が行われ、合格となった時点で判定は終了します。

判定順序	コース	選修・専攻	合否判定	
①	理科教育	中等教育	合判定	理科教育コース（中等教育選修）合格
			否判定	_____
②	理科教育	初等教育	合判定	理科教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	_____
③	数学教育	中等教育	合判定	数学教育コース（中等教育選修）合格
			否判定	_____
④	数学教育	初等教育	合判定	数学教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	_____
⑤	家政教育	中等教育	合判定	家政教育コース（中等教育選修）合格
			否判定	_____
⑥	家政教育	初等教育	合判定	家政教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	不合格

例3 第1志望コース：学校教育コース（教育学専攻→教育心理学専攻）

第2志望コース：英語教育コース（初等教育選修→中等教育選修）

第3志望コース：特別支援教育コース

上記の内容で出願した場合、以下の①～⑤の順で合否判定が行われ、合格となった時点で判定は終了します。

判定順序	コース	選修・専攻	合否判定	
①	学校教育	教育学専攻	合判定	学校教育コース（教育学専攻）合格
			否判定	_____
②	学校教育	教育心理学専攻	合判定	学校教育コース（教育心理学専攻）合格
			否判定	_____
③	英語教育	初等教育	合判定	英語教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	_____
④	英語教育	中等教育	合判定	英語教育コース（中等教育選修）合格
			否判定	_____
⑤	特別支援教育	—	合判定	特別支援教育コース合格
			否判定	不合格

出願上の留意事項

コース	出願上の留意事項	個別学力検査における受験教科の組合せ		
		国語と数学	数学と外国語	国語と外国語
国語教育コース	左記のコースのうちから、 最大第3志望まで 併願できます。 なお、個別学力検査における受験教科の組合せによっては、志望できないコースがありますので、右に示す受験教科の組合せに留意してください。	○	×「注1」	○
社会科教育コース		○	○	○
数学教育コース		○	○	×「注2」
理科教育コース		○	○	×「注2」
技術・ものづくり教育コース		○	○	×「注2」
家政教育コース		○	○	○
英語教育コース		×「注3」	○	○
特別支援教育コース		○	○	○
幼児教育コース		○	○	○
学校教育コース		○	○	○

（○は選択できる，×は選択できないことを示します。）

「注」個別学力検査における受験教科について

- 「国語教育コース」を第1志望，第2志望，第3志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する2教科のうち1教科は「国語」での受験が必須となります。
- 「数学教育コース」，「理科教育コース」及び「技術・ものづくり教育コース」を，第1志望，第2志望，第3志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する2教科のうち1教科は「数学」での受験が必須となります。
- 「英語教育コース」を第1志望，第2志望，第3志望のいずれかで志望する場合は，選択受験する2教科のうち1教科は「外国語」での受験が必須となります。

(2) 第1志望のみのコース

学校教育教員養成課程の音楽教育、美術教育及び保健体育の各コースでは、コース内で初等と中等教育選修のいずれか、もしくは両方を選択して、出願することになります。

コース	出願上の留意事項	個別学力検査
音楽教育コース	第1志望のみとなります。他のコース等との併願はできません。	実技
美術教育コース	第1志望のみとなります。他のコース等との併願はできません。	実技
保健体育コース	第1志望のみとなります。他のコース等との併願はできません。	実技

※選修を複数選択することによって、大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考）】

第1志望：音楽教育コース（中等教育選修→初等教育選修）

上記の内容で出願した場合、以下の①→②の順で合否判定が行われ、合格となった時点で判定は終了します。

判定 順序	コース	選修・専攻	合否判定	
①	音楽教育	中等教育	合判定	音楽教育コース（中等教育選修）合格
			否判定	
②	音楽教育	初等教育	合判定	音楽教育コース（初等教育選修）合格
			否判定	不合格

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

コース	教科	科目名等	確認
国語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 保健体育コース 技術・ものづくり教育コース 家政教育コース 英語教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」から1又は2 「公、倫」・「公、政経」から1	から1又は2
	公民		
	理	【地歴、公民から1科目選択した場合】	
		「物」・「化」・「生」・「地」から2	
		【地歴、公民から2科目選択した場合】	
		「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
〔6教科7科目、6教科8科目又は7教科8科目〕			

音 楽 教 育 コ ー ス 美 術 教 育 コ ー ス	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」地理B 「公、倫」・「公、政経」	} から1
	公民		
	理	「物基／化基／生基／地基」・「物」・「化」・「生」・「地」から1	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
			[6教科7科目]

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科等	科 目 名 等
国 語 教 育 コ ー ス	国語	現代の国語，言語文化
	数学	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
社会科教育コース 家政教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース	国語	現代の国語，言語文化
	数学	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
数 学 教 育 コ ー ス 理 科 教 育 コ ー ス 技術・ものづくり教育コース	国語	現代の国語，言語文化
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
	数学	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
英 語 教 育 コ ー ス	国語	現代の国語，言語文化
	数学	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」
	外国語	英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
音 楽 教 育 コ ー ス	実技	
美 術 教 育 コ ー ス	実技	
保 健 体 育 コ ー ス	実技	
全 コ ー ス 共 通	調査書等	教員志望確認書（出願時に提出）

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コ ー ス	試験の区分	国 語	地 歴	理 史	公 民	理 科	数 学	外国語	情報	実 技	調査書等	配 点 合 計
国語教育コース	共 通 テ ス ト	100	*150 (50×3)				100	100	25			475
	個別学力検査	200					*200	*200			(#1)	(#1) 400
	計	300	*150 (50×3)				100 *300	100 *300	25		(#1)	(#1) 875
社会科教育コース 家政教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース	共 通 テ ス ト	100	*150 (50×3)				100	100	25			475
	個別学力検査	*200					*200	*200			(#1)	(#1) 400
	計	100 *300	*150 (50×3)				100 *300	100 *300	25		(#1)	(#1) 875

コ ー ス	試験の区分	国 語	地 理 歴 史	公 民	理 科	数 学	外国語	情 報	実 技	調査書等	配 点 合 計
数学教育コース	共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100	25			475
理科教育コース	個別学力検査	*200				200	*200			(#1)	(#1)
技術・ものづくり教育コース	計	100 *300	*150 (50×3)			300	100 *300	25		(#1)	(#1) 875
英語教育コース	共通テスト	100	*150 (50×3)			100	100	25			475
	個別学力検査	*200				*200	200			(#1)	(#1)
	計	100 *300	*150 (50×3)			100 *300	300	25		(#1)	(#1) 875
音楽教育コース	共通テスト	100	*100		100	100	100	50			550
	個別学力検査								280	(#1)	(#1) 280
	計	100	*100		100	100	100	50	280	(#1)	(#1) 830
美術教育コース	共通テスト	100	*100		100	100	100	50			550
	個別学力検査								250	(#1)	(#1) 250
	計	100	*100		100	100	100	50	250	(#1)	(#1) 800
保健体育コース	共通テスト	100	*300 (100×3)			100	100	50			650
	個別学力検査								240	(#1)	(#1) 240
	計	100	*300 (100×3)			100	100	50	240	(#1)	(#1) 890

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 個別学力検査の採点・評価基準

コース	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
国語教育コース 社会科教育コース 数学教育コース 理科教育コース 技術・ものづくり教育コース 家政教育コース 英語教育コース 特別支援教育コース 幼児教育コース 学校教育コース	国 語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を基盤とし、様々な課題の解決に向けて言語活動を創造し、実践することができる能力を評価します。 具体的には、近代以降及び古典の文章等に対して、読解し思考し表現することができる力、また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。
	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」，もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを，論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	外 国 語	「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。
音楽教育コース	実 技	演奏の習熟度を音楽性，技術，楽曲理解の面から総合的に評価します。 「注」課題又は範囲等については，38～40ページを参照してください。
美術教育コース	実 技	美術教育に必要とされる造形的基礎力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，40ページを参照してください。
保健体育コース	実 技	各運動種目の基礎的能力を評価します。 「注」課題又は範囲等については，40ページを参照してください。
	調 査 書 等	「競技成績等調書」によって競技歴をみます。

コース	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
全 コ ー ス 共 通	調 査 書 等	「教員志望確認書」を総合評価として利用します。

8 合否判定基準

全学部的基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。
教 育 学 部	・同点者は同順位とし、その順位が志望するコース・選修の合格者の最下位である場合は、大学入学共通テストの得点が上位の受験者を合格とします。大学入学共通テストの得点も同点の場合は、その順位の者をすべて合格者とします。 ・総合得点の高い者から、志望順に合否判定をします。 ・音楽教育コース、美術教育コース、保健体育コースについては、実技の最低基準点を設けています。 ・教員志望確認書の評価によっては総合得点の順位に関わらず不合格とすることがあります。

9 実技検査の課題又は範囲等

○音楽教育コース

初等教育選修と中等教育選修の試験内容は同じです。下記のⅠ，Ⅱ，Ⅲを必ず受験してください。Ⅲについては、A・B・Cのうちからいずれか1つを選択して受験してください。（Ⅲで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 共通・新曲視唱

8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



Ⅱ 共通・実技

次の①と②の両方を受験してください。

① 声 楽

「早春賦」（吉田一昌 作詞，中田章 作曲）の1番を歌唱してください。歌唱は暗譜でなくてもかまいませんが、その場合は各自が楽譜を用意してください。

なお、調性は以下の指定された調の中から選択することとし、選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4版にコピーし、見開きになるように横一連で貼り付け、出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

調性：変ホ長調，二長調

② ピアノ

J. S. バッハ作曲「二声のインヴェンション」の中から任意の1曲を演奏してください。演奏は暗譜でなくてもかまいませんが，その場合は各自が楽譜を用意してください。反復記号がある場合は省略して演奏してください。

「注」

- (1) 試験当日の音楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) ピアノで選択した曲の曲名（番号），調性を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。

III 選択・実技

次のA・B・Cの中から一つ選択して受験してください。

A. 声 楽

(a)，(b)の2曲のいずれかにより1曲を任意に選択し，暗譜・原語で歌唱してください。
なお，調性については指定された調の中から選択してください。

- (a) Sebben, crudele (A. Caldara 作曲) ホ短調，ニ短調，ハ短調
- (b) Già il sole dal Gange (A. Scarlatti 作曲) 変ロ長調，変イ長調，ヘ長調

「注」

- (1) 試験当日の音楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。
- (2) 音楽実技で選択した作曲者名，曲名，調性を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。
- (3) 選択した調性によるピアノ伴奏譜を1ページの大きさA4判にコピーし，見開きになるように横一連に貼り付け，出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。

B. ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲を1曲各自選択（独奏曲とし，J. S. バッハの二声のインヴェンションは除く）し，暗譜で演奏してください。自作曲，弾き歌い・弾き語りも含みます。（実技・共通①音楽の曲を除く）反復記号がある場合は省略してください。

「注」

- (1) ピアノ実技で選択した曲の作曲者名，曲名，調性，作品番号などの必要事項（多楽章の曲の場合は楽章も）を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上，出願確認票とともに提出してください。
- (2) ピアノ実技の演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) ピアノ実技において，演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが，その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート，オーボエ，クラリネット（種類は問わない），サキソフォン（種類は問わない），バスーン，ホルン，トランペット，トロンボーン，ユーフォニアム，チューバ，スネアドラム，マリンバ（ハ～4点ハの4オクターブ），バイオリン，ビオラ，チェロ，コントラバス，リコーダー（種類は問わない），アコースティックギター（種類は問わない），三味線，尺八，鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 鍵盤楽器以外の器楽は、各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 鍵盤楽器以外の器楽において、演奏する楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) (2)の演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 鍵盤楽器以外の器楽の実技において、演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。
- (5) 鍵盤楽器以外の器楽における楽器は原則として持参してください。

実技の選択表及び楽譜のコピーの提出について ※Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを必ず受験してください。

共通			選択	
Ⅰ 新曲視唱	Ⅱ 実技		Ⅲ 実技 (A・B・Cの中から一つ選択)	
	①声楽	② ピアノ		
8小節程度の新曲視唱を1曲課します。 楽譜の提出なし	指定された日本語による歌曲を1曲歌唱する。 (歌唱は暗譜でなくてもかまわないが、その場合は各自が楽譜を用意する。) 楽譜の提出2部 (詳細は声楽の欄参照)	J. S. バッハ「二声のインヴェンション」から任意の1曲を演奏する。 (演奏は暗譜でなくてもかまわないが、その場合は各自が楽譜を用意する。) 楽譜の提出なし	ⅢをA. 声楽で受験する場合	声楽で受験。 指定された歌曲から任意の1曲を暗譜・原語で歌唱する。 楽譜の提出2部 (詳細は上記のⅢA参照)
			ⅢをB. ピアノで受験する場合	自作曲、弾き歌い・弾き語り(共通・実技①声楽の曲を除く)も含む5分程度の任意のピアノ曲(独奏曲とし、J. S. バッハの二声のインヴェンションは除く)を1曲暗譜で演奏する。(反復記号は省略して演奏する。) 楽譜の提出1部 (詳細は上記のⅢB参照)
			ⅢをC. 鍵盤楽器以外の器楽で受験する場合	自作曲、弾き歌い・弾き語りを含む5分程度の任意の1曲を暗譜で演奏する。 (反復記号は省略して演奏する。) 楽譜の提出1部 (詳細は上記のⅢC参照)

※Ⅰ、Ⅱ、Ⅲを必ず受験してください。

○美術教育コース

素描試験を実施します。

「注」 描画用具を持参する必要はありません。

○保健体育コース

下記の運動種目の基礎的能力に関する実技検査。

[器械運動(マット運動)、陸上競技(短距離走)、球技(バスケットボール、バレーボール)]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 陸上競技(短距離走)は天候により立ち幅とびに変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

コース・選修		募集人員
国 語 教 育 コ ー ス	初等教育選修	3名
	中等教育選修	2名
社 会 科 教 育 コ ー ス	初等教育選修	2名
	中等教育選修	2名
音 楽 教 育 コ ー ス	初等教育選修	3名
保 健 体 育 コ ー ス	初等教育選修	3名
	中等教育選修	3名
特 別 支 援 教 育 コ ー ス		7名
計		25名

2 試験時間割

【3月12日(水)】

時間 コース	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
国語教育コース 特別支援教育コース		小論文 10:00~12:00 (120分)			面 接 13:00~				
社会科教育コース					面 接 13:00~				
音楽教育コース		小論文 9:30~10:30 (60分)	実 技 10:50~						
保健体育コース			実 技 10:30~						

3 志望方法

後期日程において学生を募集する、学校教育教員養成課程の国語教育コース、社会科教育コース、音楽教育コース、保健体育コース、特別支援教育コースのうち、いずれかのコースを選び出願してください。

志望できるコースは、第1志望のみとなります。

コ ー ス	出願上の留意事項
国 語 教 育 コ ー ス	左記の各コースについては、 第1志望のみ の出願となり、他のコースとの併願はできません。
社 会 科 教 育 コ ー ス	
音 楽 教 育 コ ー ス	
保 健 体 育 コ ー ス	
特 別 支 援 教 育 コ ー ス	

※選修を複数選択することによって、大学入学共通テストと個別学力検査の総得点が変わるなど合否判定に影響がでることはありません。

【志望のしかたの例と合否判定方法（参考）】

第1志望：保健体育コース（中等教育選修→初等教育選修）

上記の内容で出願した場合、以下の①→②の順で合否判定が行われ、合格となった時点で判定は終了します。

判定 順序	コース	選修・専攻	合否判定	
①	保健体育	中等教育	合判定	保健体育コース（中等教育選修）合格
			否判定	
②	保健体育	初等教育	合判定	保健体育コース（初等教育選修）合格
			否判定	不合格

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

コース	教科	科 目 名 等	確認
国 語 教 育 コ ー ス 保 健 体 育 コ ー ス 特 別 支 援 教 育 コ ー ス	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」から1又は2	から1又は2
	公民	「公、倫」・「公、政経」から1	
	理	【地歴、公民から1科目選択した場合】 「物」、「化」、「生」、「地」から2	
		【地歴、公民から2科目選択した場合】 「物基／化基／生基／地基」、「物」、「化」、「生」、「地」から1	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	情	情	
〔6教科8科目又は7教科8科目〕			
社 会 科 教 育 コ ー ス	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」から1	から2 ただし、地歴 又は公民を1 以上含むこと
	公民	「公、倫」・「公、政経」から1	
	理	「物基／化基／生基／地基」、「物」、「化」、「生」、「地」から1	
	数	「数Ⅰ、数A」、「数Ⅱ、数B、数C」から1	
	外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	情	情	
〔5教科5科目〕			
音 楽 教 育 コ ー ス	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」	から1
	公民	「公、倫」・「公、政経」	
	理	「物基／化基／生基／地基」、「物」、「化」、「生」、「地」から1	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	外	「英」、「独」、「仏」、「中」、「韓」から1	
	情	情	
〔6教科7科目〕			

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科等	科目名等
国 語 教 育 コ ー ス	小論文	
特 別 支 援 教 育 コ ー ス	面接	
社 会 科 教 育 コ ー ス	面接	
音 楽 教 育 コ ー ス	小論文 実技	
保 健 体 育 コ ー ス	実技	
全 コ ー ス 共 通	調査書等	教員志望確認書（出願時に提出）

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 小論文の出題方針・内容

コ ー ス	出 題 方 針 ・ 内 容
国 語 教 育 コ ー ス	国語・国語教育に関する課題について論述（1,000～1,200字程度）させ，思考力，表現力などを総合的に評価します。
音 楽 教 育 コ ー ス	音楽・音楽教育に関する課題について論述（1,000～1,200字程度）させ，思考力，論理構成力などを総合的に評価します。
特 別 支 援 教 育 コ ー ス	今日的な教育・福祉・医療などに関わる課題を提示して論述（1問あたり800～1,200字程度）させ，思考力，判断力，表現力などを総合的に評価します。

7 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コ ー ス	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	理科	数学	外国語	情報	小論文	実技	面接	調査書等	配点 合計
国 語 教育コース	共 通 テ ス ト	150	*150（50×3）			100	100	25					525
	個 別 学 力 検 査								100		100	（#1）	（#1）200
	計	150	*150（50×3）			100	100	25	100		100	（#1）	（#1）725
社 会 科 教育コース	共 通 テ ス ト	100	*200（100×2）				125	25					450
	個 別 学 力 検 査										100	（#1）	（#1）100
	計	100	*200（100×2）				125	25			100	（#1）	（#1）550
音 楽 教育コース	共 通 テ ス ト	100	*100		100	100	100	50					550
	個 別 学 力 検 査								100	300		（#1）	（#1）400
	計	100	*100		100	100	100	50	100	300		（#1）	（#1）950
保 健 体 育 教育コース	共 通 テ ス ト	200	*300（100×3）			200	200	50					950
	個 別 学 力 検 査									360		（#1）	（#1）360
	計	200	*300（100×3）			200	200	50		360		（#1）	（#1）1310
特 別 支 援 教育コース	共 通 テ ス ト	100	*150（50×3）			100	100	25					475
	個 別 学 力 検 査								200		100	（#1）	（#1）300
	計	100	*150（50×3）			100	100	25	200		100	（#1）	（#1）775

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

8 個別学力検査の採点・評価基準

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
国 語 教 育 コ ー ス	小 論 文	思考力，表現力などを総合的に評価します。
	面 接	志望の動機，勉学の意欲とともに，国語科に関する内容についての理解力や表現力などから総合的に評価します。

社会科教育コース	面接	志望の動機、勉学の意欲とともに、社会科、地理歴史科、公民科に関する内容についての理解力、論理的思考力や表現力などから総合的に評価します。
音楽教育コース	実技	演奏の習熟度を音楽性、技術、楽曲理解の面から総合的に評価します。「注」課題又は範囲等については、44～46ページを参照してください。
	小論文	思考力、論理的構成力などを総合的に評価します。
保健体育コース	実技	基礎的な体力・運動能力を評価します。「注」課題又は範囲等については、46ページを参照してください。
	調査書等	「競技成績等調書」によって競技歴をみます。
特別支援教育コース	小論文	思考力、判断力、表現力などを総合的に評価します。
	面接	特別支援教育に関する勉学の意欲などを問い、思考力や判断力を評価します。
全コース共通	調査書等	「教員志望確認書」を総合評価として利用します。

9 合否判定基準

全学部的基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。
教 育 学 部	・同点者は同順位とし、その順位が志望するコース・選修の合格者の最下位である場合は、大学入学共通テストの得点が上位の受験者を合格とします。大学入学共通テストの得点も同点の場合は、その順位の者をすべて合格者とします。 ・総合得点の高い者から、志望順に合否判定をします。 ・音楽教育コース、保健体育コースについては、実技の最低基準点を設けています。 ・国語教育コース、社会科教育コースについては、面接の評価によっては、総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。 ・教員志望確認書の評価によっては総合点の順位にかかわらず、不合格とすることがあります。

10 実技検査の課題又は範囲等

○音楽教育コース

募集は初等教育選修のみとなります。下記のⅠ，Ⅱを必ず受験してください。ⅡについてはA・B・Cのうちからいずれか1つを選択して受験してください。（Ⅱで選択した内容は入学後の専攻分野を決定するものではありません。また、卒業研究は声楽・器楽（ピアノ）・作曲・音楽教育の中からの選択になります。）なお、出願書類提出後の曲目等の変更は認めません。

Ⅰ 共通・新曲視唱

8小節程度の新曲視唱を1曲課します。予見は1分間です。予見終了後、ピアノで主和音と開始音を鳴らします。難易度等は以下の楽譜を参考にしてください。唱法は問いません。



II 選択・実 技

次のA・B・Cの中から一つ選択して受験してください。

A. 声 楽

2分以上5分以内の任意の歌曲（独唱曲に限る）を1曲各自選択し、暗譜で歌唱（移調可）してください。外国歌曲は原語による歌唱とします。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名、曲名、調性を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
- (2) ピアノ伴奏譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに2部提出してください。
- (3) ピアノ伴奏譜の1ページの大きさはA4判にしてください。
- (4) ピアノ伴奏譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (5) 試験当日の声楽実技のピアノ伴奏者は大学で用意します。

B. ピアノ

5分程度の任意のピアノ曲を1曲各自選択し、暗譜で演奏してください。自作曲、弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号は省略してください。

「注」

- (1) 各自が選択した曲の作曲者名、曲名、調性、作品番号、楽章などの必要事項を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。
- (4) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。

C. 鍵盤楽器以外の器楽

5分程度の任意の1曲（自作曲も含む）を暗譜で演奏してください。弾き歌い・弾き語りも含みます。反復記号がある場合は省略して演奏してください。楽器の範囲は次のとおりとします。

フルート、オーボエ、クラリネット（種類は問わない）、サキソフォン（種類は問わない）、バスーン、ホルン、トランペット、トロンボーン、ユーフォニアム、チューバ、スネアドラム、マリンバ（ハ～4点ハの4オクターブ）、バイオリン、ビオラ、チェロ、コントラバス、リコーダー（種類は問わない）、アコースティックギター（種類は問わない）、三味線、尺八、鼓。

上記に該当しない楽器で受験を希望する場合は学務部入試チームに問い合わせてください。

「注」

- (1) 各自が選択した楽器名、曲名などの必要事項を三重大学ウェブサイトの「入試情報」に掲載されている「選択曲目等申告書」に記入の上、出願確認票とともに提出してください。なお、伴奏がある曲を選択しても試験では伴奏をつけずに審査します。
- (2) 演奏楽譜のコピーを出願時に提出する出願確認票とともに1部提出してください。
- (3) 演奏楽譜は見開きになるように横一連に貼り付けてください。

- (4) 演奏時間が5分以上の曲を選択しても失格にはなりませんが、その場合は演奏を途中で止めることがあります。
- (5) 楽器は原則として持参してください。

楽譜のコピーの提出について

Ⅱ 実技のみ必要

- A. 声楽・・・2部提出 B. ピアノ・・・1部提出 C. 鍵盤楽器以外の器楽・・・1部提出
(詳細は上記のそれぞれの項目参照)

○保健体育コース

走・跳・投などの基礎的体力，運動能力に関する下記の実技検査

[50メートル走，ハンドボール投げ，懸垂腕屈伸（女子は斜懸垂腕屈伸），反復横とび，垂直とび]

「注」

- (1) 屋内・屋外で運動のできる用意をしてください。
- (2) スパイクシューズ等の使用は認めません。
- (3) 50メートル走は天候により立ち幅とびに変更する場合があります。
- (4) あらかじめ各自で傷害保険に加入してください。
- (5) あらかじめ各自で健康診断を受けてください。

3 医 学 部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

ーこのような人を育てますー

医学部における教育に関する方針は、「医療に求められる使命感，倫理観，臨床判断力・実践力と医学・看護学研究を推進する創造的研究力を培い，人類の健康と福祉に貢献する医療人を育成する」ことです。

医学科では，基礎医学，社会医学，臨床医学の分野で活躍する人材を養成していきます。すなわち，コミュニケーション能力に優れ，幅広い知識と質の高い技術を持って患者中心の医療を実践できる能力，自ら問題を発見し科学的根拠に基づいた思考によって問題を解決できる能力，あるいは地域及び国際社会における健康の増進，疾病の予防に寄与し，人類の保健，繁栄に貢献できる能力を養います。

看護学科では，人間の誕生から死に至るまでの，様々な健康状態にある人達の健康と生活の質の向上にむけた支援ができるよう，Heart（こころ）・Head（専門知識）・Hand（専門技術）を伸ばす教育を通して，広く保健・医療に携わる看護職者を育成します。そして，倫理観と責任感を備え，協調性のある豊かな人間性と国際的感覚をもち，地域医療・保健に貢献できる看護職者の育成に努めます。

ーこのような人を求めますー

医学科では特に以下の人を求めます。

- 医学の進歩と人類の健康の向上に対して高い関心を持っている。
- 入学後の修学に必要な学習能力と誠実な人間性を備えている。
- 困難に立ち向かう強さと人への優しさを備えている。
- 地域医療への貢献に対する意識を持っている。

看護学科では特に以下の人を求めます。

- 看護職者を目指すために必要な基礎学力を備え，論理的に物事を考えられる人。
- 人の健康に関心が強く，看護の分野で社会に貢献する意志をもっている人。
- 探求心と自立心をもって，主体的・協働的に課題に取り組める人。
- 相手の立場を理解し，柔軟に物事を考え，表現できる人。
- 国際的な視野をもち，地域の医療・保健の向上に貢献することを希望する人。

ー入学者選抜方針ー

●一般選抜前期日程

医学科では，大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し，両者の総合点で科学的，論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で，医師としての適格性を判断することにより，アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では，総合的基礎学力を重視し，目的意識を向上させ実現できる力を総合的に評価するために，大学入学共通テストと個別学力検査等（英語を必須とし，国語又は数学から1教科を選択の2教科の筆記試験，面接）を実施します。

●一般選抜後期日程

医学科では，大学入学共通テスト以外に大学入学共通テストだけでは不十分と思われる内容に関して個別学力検査を課し，両者の総合点で科学的，論理的な思考や医学を学び活かすための基礎学力の程度を評価します。面接で，医師としての適格性を判断することにより，アドミッション・ポリシーに沿った人材の選抜を行います。

看護学科では，総合的基礎学力と，人間・環境・健康などへの洞察力，論理性，表現力を評価するために，大学入学共通テストと小論文，面接を実施します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

医学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<医学部 医学科>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		○
	面接	○		○		○
	調査書	○		○		○
後期日程	小論文	○		○		○
	面接	○		○		○
	調査書	○		○		○

<医学部 看護学科>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		
	面接			○		○
	調査書					(総合判定の参考)
後期日程	小論文	○		○		○
	面接			○		○
	調査書					(総合判定の参考)

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科	募集人員
医 学 科	75名
看 護 学 科	52名
計	127名

2 試験時間割

【2月25日(火)】

時間 学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
医 学 科		数 学 9:30~11:30 (120分)			理 科 12:30~15:00 (150分)			外国語 15:50~17:10 (80分)	
看護学科		数 学 9:30~11:30 (120分)			国 語 13:00~14:40 (100分)			外国語 15:50~17:10 (80分)	

【2月26日(水)】

時間 学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
医 学 科		面 接 9:30~							
看護学科		面 接 9:30~							

3 志望方法

医学科、看護学科のいずれかの学科を選び、出願してください。

志望学科は、第1志望のみとします。

医学部医学科における「三重県地域医療枠」の志望方法については、52ページを参照してください。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

学 科	教科	科 目 名 等	確認
医 学 科	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」	} から1
	公民	「公、倫」・「公、政経」	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	理	「物」・「化」・「生」から2	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
		[6教科8科目]	

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

学 科	教科	科 目 名 等	確認
看 護 学 科	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」	} から1
	公民	「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」	
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	理	「物基／化基／生基／地基」(#2)・「物」・「化」・「生」から1	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
〔6教科7科目〕			

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

学 科	教科等	科 目 名 等
医 学 科	数学 理科 外国語 面接	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 「物基・物」，「化基・化」，「生基・生」から2 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ
看 護 学 科	国語 数学 外国語 面接	現代の国語，言語文化 数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C } から1 英語コミュニケーションⅠ・Ⅱ・Ⅲ，論理・表現Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ

6 2段階選抜

- ① 医学部医学科では，志願者数が募集人員に対して次の倍率を超えた場合のみ実施します。
(倍率については，緩和することがあります。)

学科	日程	前期日程	後期日程
医 学 部 医 学 科		5 倍	1 5 倍

第1段階選抜は，大学入学共通テストの成績により行い，その合格者を対象に個別学力検査等を実施し，最終的な合格者を決定します。

- ② 発表方法

前期日程・後期日程とも2月12日(水)17時頃に，第1段階選抜合格者は受験票及び受験案内の印刷が可能となります(詳細はメールでお知らせします)。不合格者には不合格通知書及び入学検定料返還請求案内を速達郵便で発送します。(第1段階選抜不合格者に対しては，入学検定料(17,000円)のうち13,000円を返還します。)

なお，2段階選抜を実施しなかった場合は，前期日程・後期日程とも**2月12日(水)17時頃**に，受験票及び受験案内の印刷が全員可能となります(詳細はメールでお知らせします)。

氏名等に間違いがある場合には，学務部入試チームへ連絡してください。

- ※ 2段階選抜実施の有無については，本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。

7 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

学 科	試験の区分	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	面 接	配 点 合 計
医 学 科	共 通 テ ス ト	100	*100		100	200	100	50		650
	個別学力検査				200	200	200		100	700
	計	100	*100		300	400	300	50	100	1350
看 護 学 科	共 通 テ ス ト	150	*150		150	150 (#2)	150	75		825
	個別学力検査	*150			*150		150		100	400
	計	150 *300	*150		150 *300	150 (#2)	300	75	100	1225

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

8 得点調整

医学科受験者の各科目（物理，化学，生物）間で20点以上の平均点差が生じた場合は，医学科受験者を対象として得点調整を行います。

看護学科受験者の国語と数学の教科間で20点以上の平均点差が生じた場合は，看護学科受験者を対象として得点調整を行います。

なお，得点調整を行った場合，本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。

9 個別学力検査の採点・評価基準

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
医 学 科	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。
	理科：生物	「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらを遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解度を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。
医 学 科 看 護 学 科	外 国 語	「英語」の出題範囲は英語コミュニケーションⅠ・英語コミュニケーションⅡ・英語コミュニケーションⅢ，論理表現Ⅰ・論理表現Ⅱ・論理表現Ⅲであり，その範囲内での総合的英語力の達成度を採点・評価の対象とします。総合的英語力とは幅広い英語読解力と豊かな英語表現力を言います。したがって，本学の英語試験はマークシート方式の試験では測ることが難しい総合的な読解力と表現力の達成度を主な採点・評価基準とします。
看 護 学 科	国 語	高等学校学習指導要領（国語）に示された内容を踏まえた総合的な基礎学力を基盤とし，様々な課題の解決に向けて言語活動を創造し，実践することができるような能力を評価します。具体的には，近代以降及び古典の文章等に対して，読解し思考し表現することができる力，また語彙・文字・文法・文学に関する知識等を総合的に評価します。
看 護 学 科	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
医 学 科	面 接	志望理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。 医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。
看 護 学 科	面 接	志望理由，学習意欲，探求心，理解力，表現力，協調性などを評価します。 人間，健康，社会，保健・医療・福祉，看護，社会貢献に対する関心度を評価します。

10 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など、「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により、上位から順次合格者とします。
医 学 科	同点者は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、個別学力検査の得点が上位の受験者を合格とします。個別学力検査の得点も同点の場合は、その順位の者をすべて合格者とします。 面接の評価によっては、総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
看 護 学 科	同点者は同順位とし、その順位が合格者の最下位である場合は、その順位の者をすべて合格者とします。 面接の評価によっては、総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。

11 医学部医学科における「三重県地域医療枠」の学生募集について

平成22年度入試より前期日程に「三重県地域医療枠」を設けました。

「三重県地域医療枠」とは、三重県内の地域医療に貢献する明確な意志を持った方を募集する枠です。この枠を設けたことにより前期日程は一般枠及び三重県地域医療枠に分かれます。

募 集 人 員	5名程度（前期日程募集人員75名に含まれます。）
出 願 資 格	出願資格（5ページ参照）に該当する者で、(1)と(2)の条件を満たす者 (1) 卒業後は、三重県地域医療支援センターのキャリア形成プログラムに沿って勤務し（注1）、三重県内での医療・医学の発展とその継続に貢献することを確約できる者 入学後は、医学部医学・看護学教育センターの指導・助言を受けて、医学部での地域医療の学習を行います。卒業後は、三重大学医学部附属病院または三重県内の基幹型臨床研修病院での臨床研修プログラムに参加します（注2）。その後、専門医取得を目的として三重大学医学部附属病院群での専門研修プログラムに沿って研修します。 (2) 「三重県地域医療枠」の入学者には、「三重県医師修学資金」（注3）の貸与を受けていただくことになります。
出 願 手 続	誓約書及び同意書（本学・県所定の用紙）の提出が必要となります。 誓約書・同意書の提出により「三重県地域医療枠」志願者として扱います。 ※インターネット出願システム上で「三重県地域医療枠」の希望欄にチェックをしてください。
選 抜 方 法	入学者選抜の実施教科・科目等は前期日程（49～52ページ参照）と同様とします。 なお、「三重県地域医療枠」での出願者は、「一般枠」においても合否判定の対象となります。
そ の 他	出願期間、選抜期日、合格発表日等は、一般枠と同様とします。

（注1）医師不足地域での一定期間の勤務を含みます。

（注2）基幹型臨床研修病院とは、臨床研修病院のうち、他の病院又は診療所と共同して臨床研修を行う病院であって、当該臨床研修の全体的な管理・責任を有する病院をいいます。

（注3）三重県医師修学資金は、在学中に貸与を受け、医学部を卒業後に、医師として一定の年数を三重県内の医療機関に勤務することにより貸与額全額の返還が免除されます。詳細については、三重県医療保健部医療人材課の三重県医師修学資金ホームページを参照してください。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科	募集人員
医 学 科	10名
看 護 学 科	5名
計	15名

2 試験時間割

【3月12日(水)】

時間 学科	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
医 学 科		小論文 9:30～11:30 (120分)				面 接 13:00～			
看 護 学 科		小論文 9:30～11:30 (120分)				面 接 13:00～			

3 志望方法

医学科，看護学科のいずれかの学科を選び，出願してください。

志望学科は，第1志望のみとします。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

学 科	教科	科 目 名 等	確認
医 学 科	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」	} から1
	公民	「公，倫」・「公，政経」	
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	理	「物」・「化」・「生」から2	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
		〔6教科8科目〕	
看 護 学 科	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」	} から1
	公民	「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」	
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	理	「物基／化基／生基／地基」(#2)・「物」・「化」・「生」から1	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情	情	
		〔6教科7科目〕	

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 2段階選抜

- ① 医学部医学科では、志願者数が募集人員に対して次の倍率を超えた場合のみ実施します。
(倍率については、緩和することがあります。)

学科 \ 日程	前期日程	後期日程
医 学 部 医 学 科	5 倍	1 5 倍

第1段階選抜は、大学入学共通テストの成績により行い、その合格者を対象に個別学力検査等を実施し、最終的な合格者を決定します。

- ② 発表方法

前期日程・後期日程とも2月12日(水)17時頃に、第1段階選抜合格者は受験票及び受験案内の印刷が可能となります。(詳細は、メールでお知らせします。) 不合格者には不合格通知書及び入学検定料返還請求書を速達郵便で発送します。(第1段階選抜不合格者に対しては、入学検定料(17,000円)のうち13,000円を返還します。)

なお、2段階選抜を実施しなかった場合は、前期日程・後期日程とも**2月12日(水)17時頃に**、受験票及び受験案内の印刷が全員可能となります。(詳細は、メールでお知らせします。)

氏名等に関違ひがある場合には、学務部入試チームへ連絡してください。

連絡先：TEL 059-231-9063

※ 2段階選抜実施の有無については、本学ウェブサイトの「入試情報」に掲載します。

6 個別学力検査の実施教科・科目等

学 科	教 科 等
医 学 科	小 論 文 面 接
看 護 学 科	小 論 文 面 接

教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 小論文の出題方針・内容

学 科	出 題 方 針 ・ 内 容
医 学 科	人間、健康、医療、生命科学、時事問題などに関わる課題を提示して論述させ、洞察力、論理構成力、表現力などを総合的に評価します。 なお、英語の理解力を必要とするものを含みます。
看 護 学 科	人間、環境、健康などに関わる課題を提示して論述させ、洞察力、論理構成力、表現力などを総合的に評価します。 なお、英語の理解力を必要とするものを含みます。

8 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

学 科	試験の区分	国語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	小論文	面 接	配 点 合 計
医 学 科	共 通 テ ス ト	100	*100		100	200	100	50			650
	個別学力検査								200	100	300
	計	100	*100		100	200	100	50	200	100	950
看 護 学 科	共 通 テ ス ト	150	*150		150	150 (#2)	150	75			825
	個別学力検査								300	100	400
	計	150	*150		150	150 (#2)	150	75	300	100	1225

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

9 個別学力検査の採点・評価基準

学 科	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
医 学 科	小 論 文	人間，健康，医療，生命科学，時事問題などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。 なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。
	面 接	志望理由，学習意欲，理解力，表現力，論理性などを出願書類等を参考に評価します。 医学，医療，科学，社会などに対する関心度を評価します。
看 護 学 科	小 論 文	人間，環境，健康などに関わる課題を提示して論述させ，洞察力，論理構成力，表現力などを総合的に評価します。 なお，英語の理解力を必要とするものを含みます。
	面 接	志望理由，学習意欲，探求心，理解力，表現力，協調性などを評価します。 人間，健康，社会，保健・医療・福祉，看護，社会貢献に対する関心度を評価します。

10 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。
医 学 科	同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，個別学力検査の得点が上位の受験者を合格とします。個別学力検査の得点も同点の場合は，その順位の者をすべて合格者とします。 面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。
看 護 学 科	同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。 面接の評価によっては，総合点の順位にかかわらず不合格とすることがあります。

4 工 学 部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

—このような人を育てます—

工学部は、科学技術の分野における先端的、創造的な職業能力はもとより、自然、社会、文化等に対する深い見識を育むことを目指して、学生と教員のふれあいを重視した教育を行っています。特に演習、実験、卒業研究等、研究室での少人数教育を通して、世界に通用する学問及び社会の進歩を支えるものづくりに不可欠な技術の修得と、社会で活躍するための実践力や表現力を養います。

—このような人を求めます—

- 自然、社会、文化等に対して幅広い関心が有り、それらの基礎学力を持った人。
- 工学を理解するために必要な数学、理科に興味があり、それらを応用する能力と自主的に学ぶ意欲を持った人。
- 自分の考えを的確に表現し、論理的に伝えることができる人。
- 工学における問題解決の実践に情熱があり、社会に貢献しようという気概を持った人。
- 工学とその周辺分野に対する旺盛な好奇心を持ち、真摯に問題を探求し続ける姿勢を持った人。

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

大学入学共通テストでは国語、地歴・公民、数学、理科、外国語、情報の6教科8科目を課し、これまでに身につけた幅広い基礎学力とその到達度を見ます。さらに個別学力検査では、工学を学ぶ上で不可欠な数学と理科を課し、大学入学共通テストと個別学力検査の総合成績により入学者を選抜します。

●一般選抜後期日程

各コースでは前期日程試験とは異なる観点から、専門性に照らした資質、能力、応用力を見るために個別学力検査を課し入学者を選抜します。検査科目は機械工学コース、電気電子工学コース及び電子情報工学コースでは物理、応用化学コースでは化学、情報工学コースでは小論文、また建築学コースでは立体スケッチと面接で、専門分野への適性、意欲、関心等で評価を加味し、総合的に判断して入学者を選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

工学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示し、「(総合判定の参考)」は総合的な判定を行う場合の評価対象項目であることを示しています。

<工学部 機械工学コース>

選抜方法等		学力の3要素				
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		○
後期日程	個別学力検査	○		○		
	調査書					(総合判定の参考)

<工学部 電気電子工学コース>

選抜方法等		学力の3要素					
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働する態度
大学入学共通テスト		○		○			
前期日程	個別学力検査	○		○		○	
後期日程	個別学力検査	○		○			
	調査書						(総合判定の参考)

<工学部 電子情報工学コース>

選抜方法等		学力の3要素					
		①		②		③	
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト		○		○			
前期日程	個別学力検査	○		○		○	
後期日程	個別学力検査	○		○			
	調査書						(総合判定の参考)

<工学部 応用化学コース>

選抜方法等		学力の3要素					
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働する態度
大学入学共通テスト		○		○			
前期日程	個別学力検査	○		○		○	
後期日程	個別学力検査	○		○			
	調査書						(総合判定の参考)

<工学部 建築学コース>

選抜方法等		学力の3要素					
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持って多様な人々と協働する態度
大学入学共通テスト		○		○			
前期日程	個別学力検査	○		○		○	
後期日程	立体スケッチ	○		○		○	
	面接	○		○		○	○

<工学部 情報工学コース>

選抜方法等		学力の3要素					
		①		②		③	
		知識	技能	思考力	判断力	表現力	主体性を持ち、多様な人々と協働しつつ学習する態度
大学入学共通テスト		○		○			
前期日程	個別学力検査	○		○		○	
後期日程	小論文	○		○		○	
	調査書						(総合判定の参考)

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募集人員
総合工学科	機 械 工 学 コ ー ス	45名
	電 気 電 子 工 学 コ ー ス	32名
	電 子 情 報 工 学 コ ー ス	20名
	応 用 化 学 コ ー ス	40名
	建 築 学 コ ー ス	34名
	情 報 工 学 コ ー ス	62名
計		233名

2 試験時間割

【2月25日(火)】

時間 コース	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース 応用化学コース 建築学コース 情報工学コース		数 学 9:30~11:30 (120分)			理 科 12:30~14:00 (90分)				

3 志望方法

機械工学コース、電気電子工学コース、電子情報工学コース、応用化学コース、建築学コース、情報工学コースのうちから第2志望まで出願できます。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

コ ー ス	教科	科 目 名 等	確認
機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース 応用化学コース 建築学コース 情報工学コース	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」	} から1
	公民	「地総／歴総／公」・「公、倫」・「公、政経」	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	理	「物」と「化」	
	外	英	
情報工学コース	情	情	
	〔6教科8科目〕		

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科等	科 目 名 等
機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース 応用化学コース 建築学コース 情報工学コース	数学 理科	数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C 「物基・物」，「化基・化」から1

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コ ー ス	試験の区分	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	配 点 合 計
機 械 工 学 コ ー ス	共 通 テ ス ト	100	*50		100	100	250	50	650
電 気 電 子 工 学 コ ー ス	個 別 学 力 検 査				350	250			600
電 子 情 報 工 学 コ ー ス									
応 用 化 学 コ ー ス	計	100	*50		450	350	250	50	1250
建 築 学 コ ー ス									
情 報 工 学 コ ー ス									

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 得点調整

工学部受験者の各科目（物理、化学）間で20点以上の平均点差が生じた場合は、工学部受験者を対象として得点調整を行います。なお、得点調整を行った場合、本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

8 個別学力検査の採点・評価基準

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース 応用化学コース 建築学コース 情報工学コース	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。

9 合否判定基準

全学部的基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者となります。
工学部的基本的な基準	上記に基づき，総合得点により，志願者の志望した各コースの上位から順次合格者となります。
コ ー ス 毎 の 基 準	I 総合得点が同点の場合は，個別学力検査の合計点の順位とします。 II 個別学力検査の合計点も同点の場合は，次のとおりとします。 ・ 機械工学コース，電気電子工学コース，電子情報工学コース，情報工学コース，個別学力検査の数学の得点の順とします。 ・ 応用化学コース 個別学力検査の理科の得点の順とします。 ・ 建築学コース 大学入学共通テストの外国語の得点の順とします。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科 ・ コー ス		募集人員
総合工学科	機 械 工 学 コー ス	20名
	電 気 電 子 工 学 コー ス	25名
	電 子 情 報 工 学 コー ス	15名
	応 用 化 学 コー ス	46名
	建 築 学 コー ス	10名
	情 報 工 学 コー ス	25名
計		141名

2 試験時間割

【3月12日(水)】

時間 コース	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
機械工学コース 電気電子工学コース 電子情報工学コース		理科（物理） 10:00～12:00 (120分)							
応用化学コース		理科（化学） 10:00～12:00 (120分)							
建築学コース		立体スケッチ 10:20～11:20 (60分)				面 接 13:30～			
情報工学コース		小論文 10:00～12:00 (120分)							

3 志望方法

機械工学コース，応用化学コース，建築学コース，情報工学コースの4コースについては1つのコースを選び，出願してください。これらのコースは，第1志望のみとします。

電気電子工学コース及び電子情報工学コースは，相互に第2志望を選び出願することができます。

（第1志望を電気電子工学コース，第2志望を電子情報工学コース，或いはその逆の志望順位での出願が可能）

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

コ ー ス	教科	科 目 名 等	確認
機械工学コース	国	国	
電気電子工学コース	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」 } から 1	
電子情報工学コース	公民	「地総／歴総／公」・「公、倫」・「公、政経」	
応用化学コース	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
建築学コース	理	「物」と「化」	
情報工学コース	外	英	
	情	情	
〔6教科8科目〕			

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科等	科 目 名 等
機械工学コース	理 科	物基・物
電気電子工学コース	調査書	
電子情報工学コース		
応用化学コース	理 科	化基・化
	調査書	
建築学コース	立体スケッチ	配付した立体模型を構成・描画させ、立体・画面の構成力や、観察力、表現力、集中力、クラフトマンシップについて一定の能力があることを検査します。
	面 接	
情報工学コース	小論文	
	調査書	

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コ ー ス	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	小論文	実技	面接	調査書等	配 点 合 計
機械工学コース	共 通 テ ス ト	100	*50		200	100	200	50					700
	個別学力検査					350						(#3)	(#3)
	計	100	*50		200	450	200	50				(#3)	1050
電気電子工学コース 電子情報工学コース	共 通 テ ス ト	100	*50		300	100	250	50					850
	個別学力検査					450						(#3)	(#3)
	計	100	*50		300	550	250	50				(#3)	1300
応用化学コース	共 通 テ ス ト	50	*50		100	100	125	50					475
	個別学力検査					400						(#3)	(#3)
	計	50	*50		100	500	125	50				(#3)	875
建築学コース	共 通 テ ス ト	100	*50		200	100	200	50					700
	個別学力検査									(#4)	(#5)		(#4)(#5)
	計	100	*50		200	100	200	50		(#4)	(#5)		700
情報工学コース	共 通 テ ス ト	100	*50		200	200	200	100					850
	個別学力検査								200			(#3)	(#3)
	計	100	*50		200	200	200	100	200			(#3)	1050

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 個別学力検査の採点・評価基準

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
情 報 工 学 コ ー ス	小論文	設問に対する読解力，小論文における論理性，客観性，明確性，一貫性，ならびに文章構成を採点・評価の対象とします。具体的には，工学者の基礎を成す国際社会や科学技術に対する知識や考えを問うことによって，その理解力，思考力，洞察力，俯瞰力を総合的に評価します。
機 械 工 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 電 子 情 報 工 学 コ ー ス	物 理	「物理基礎」・「物理」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
応 用 化 学 コ ー ス	化 学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，化学的な事物・現象に関する知識および概念や原理・法則が系統的かつ本質的に理解できているかを問います。 また，化学の基本となる概念や原理・法則を活用する力を問います。これらによって，化学的な事物・現象を分析，総合的に考察し，論理的に記述し，起こり得る変化を予測し，新しい事象の解釈へ応用する能力が身につけているかを総合的に評価します。
建 築 学 コ ー ス	立体スケッチ	配付した立体模型を構成・描画させ，立体の構合力，画面の構合力，立体の観察力，立体の表現力，集中力・クラフトマンシップの5項目について評価します。 「注」問題例，評価基準等については，63ページを参照
	面 接	学習への意欲，建築への姿勢，意思疎通能力，人物・資質の4項目につき試問の上，評価します。
機 械 工 学 コ ー ス 電 気 電 子 工 学 コ ー ス 電 子 情 報 工 学 コ ー ス 情 報 工 学 コ ー ス 応 用 化 学 コ ー ス	調査書	各コースの可否ラインに同点で並んだ場合，調査書を総合的に評価し順位をつけます。

8 可否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。
工 学 部	【建築学コース以外の各コース】 各コースの可否ライン上以外で総合得点が同点の場合は，個別学力検査の得点の順位とします。 ただし，各コースの可否ライン上で総合得点が同点の場合は，「主体性をもって多様な人々と協働して学ぶ態度」について，調査書の「総合的な探究の時間の記録」，「特別活動の記録」，「指導上参考となる諸事情」（調査書が提出できない志願者においては，工学部所定の様式書類の当該箇所）を総合的に評価して順位を決定します。前述の順位についても同点の場合は，個別学力検査の得点の順位で合格者を決定します。 【建築学コース】 「面接」 面接の合計得点の得点率30%以上の受験者を立体スケッチ及び大学入学共通テストの成績による可否判定の対象とします。 「立体スケッチ」 採点・評価基準の5項目（各1点満点）の合計が4点以上の受験者を面接及び大学入学共通テストの成績による可否判定の対象とします。 上記2点及び大学入学共通テストの点数を踏まえ，総合得点が同点の場合大学入学共通テストの外国語の得点順とします。

9 建築学コース「立体スケッチ」の問題例，評価基準について

問題例

- 1) 配付された立体模型は，ひとつの正四角柱を大・小に分割したものです。この二体を机の上で自由に組み合わせて配置し，バランスのよい美しい構成をつくりなさい。二体は接触していても，していなくてもかまいません。
- 2) 1) で出来上がった形を解答用紙に鉛筆で描画しなさい。二体の模型の全体を描くこと。陰影や背景などによって立体感をつけること。用紙（A4判）は縦長に使っても横長に使ってもかまいません。

評価基準

以下の5つの評価項目について，それぞれ0点または1点で評価し，合計4点以上を面接及び大学入学共通テストの成績による合否判定の対象とします。

① 立体の構成力

二体がバラバラで無関係な配置のもの，元の一体の正四角柱のままのもの（構成放棄），重力空間において非現実的ないし不安定なものは，低く評価します。

② 画面の構成力

紙面の一部だけに小さく描いたもの，紙面から大幅にはみ出したもの，ひとつの立体にもうひとつの立体がほとんど隠れてしまっているものは，低く評価します。

③ 立体の観察力

比例が大幅に崩れて（扁平，細長すぎるなど）いるもの，基盤面の平面性が失われているものは，低く評価します。

④ 立体の表現力

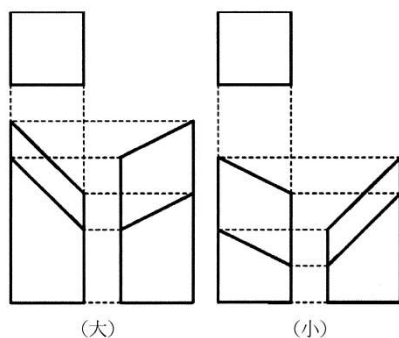
陰影などを利用して立体感を出そうと試みていないもの，陰影が相互におおきく矛盾しているものは，低く評価します。

⑤ 集中力，クラフトマンシップ

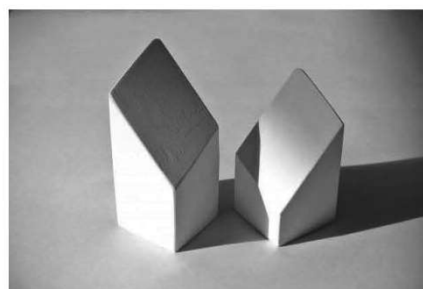
試験時間をフル活用して精密な作品を懸命に仕上げようとしていないもの，試験時間に対して描画内容が僅少・貧弱なもの，筆致が乱雑なもの，重要部分を消すなど能力隠蔽の痕跡があるものは，低く評価します。

「注」

1. 問題例は例示であり，このとおり出題されるとは限りません。
2. 描画用具は黒鉛筆（2B～6B），消しゴム（練り消しゴムを含む），鉛筆削りとします。なお，描画用具は，試験当日各自で必ず持参してください。
3. 立体模型は，ひとつの正四角柱（正方形底面の1辺の長さ40mm，高さ120mm）を大・小に分割したものです。次に示すのはその一例です。検査では正四角柱の切断面が異なる数種の模型をランダムに配付します。模型には製作上のわずかな個体差があります。



立体模型の三面図の一例



立体模型の写真

5 生物資源学部

入学者受入れの方針（アドミッション・ポリシー）

—このような人を育てます—

生物資源学部は、地域に根ざした視点に立ちながらも国際的な視野をもち、自然との共存を図りつつ生物資源の適正な開発・利用と保全を追求するための科学技術に関する教育・研究成果を生み出すことを目指しています。そのために、自然科学分野の基礎知識だけでなく農林水産学、環境科学、生命科学の各分野における専門知識を身に付けることにより、独創性と広い視野を持ち、地域社会だけではなく国際社会にも貢献できる人材の育成を目標にしています。

—このような人を求めます—

- 高等学校の教育課程において履修する内容を十分に理解し、高校卒業レベルの知識を有する人。
- 農林水産学を対象とした専門高校において専門科目を深く学び、優れた成績を修めた人。
- 入学後の修学に必要な基礎学力としての知識ならびに理解能力を有している人。
- 生命科学や農林水産学に関わる様々な現象に関心を持ち、生物資源の適正な開発・利用と保全に関心のある人。
- 自然と人が共生する持続的社会の創出を目指し、社会貢献に対する明確な目的意識を有する人。

—入学者選抜方針—

●一般選抜前期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と語学力に加え、理数系の能力を見るために、大学入学共通テスト（6教科8科目）と個別学力検査（数学と理科）により選抜します。

●一般選抜後期日程

生物資源の適正な開発・利用と保全を学ぶために必要とされる幅広い基礎学力と英語力に加え、理数系の能力を見るために、大学入学共通テスト（6教科8科目）を課すほか、大学入学後の学修への関心・意欲等を総合的に判断するため、ペーパーインタビュー（面接に代わる筆記試験）を併せて実施し選抜します。

—各選抜方法における学力の3要素の評価方法—

生物資源学部では、次表のとおり学力の3要素について評価を行います。

表中の「○」は重点評価対象項目であることを示しています。

<生物資源学部>

選抜方法等		学力の3要素				
		①		②		③
		知識	技能	思考力	判断力	表現力
大学入学共通テスト		○		○		
前期日程	個別学力検査	○		○		
後期日程	個別学力検査	○		○		
	ペーパーインタビュー				○	○

〈前期日程〉

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募集人員
生物資源学科	生物資源総合科学コース	15名
	農林環境科学コース	53名
	海洋生物資源学コース	25名
	生命化学コース	41名
計		134名

2 試験時間割

【2月25日(火)】

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
コース									
生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース		数 学 9:30~11:30 (120分)			理 科 12:30~14:00 (90分)				

3 志望方法

生物資源総合科学コース，農林環境科学コース，海洋生物資源学コース，生命化学コースの4コースのうちから第3志望まで出願できます。ただし，生物資源総合科学コースを第2・3志望とすることはできません。（生物資源総合科学コースを第1志望として，他の3コースを第2・3志望とすることはできます。）

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて，本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は，出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして，本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで，出願するようにしてください。

コ ー ス	教科	科 目 名 等	確認
生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	国	国	
	地歴	「地総，地探」・「歴総，日探」・「歴総，世探」 「地総／歴総／公」・「公，倫」・「公，政経」 } から1	
	公民		
	数	「数Ⅰ，数A」と「数Ⅱ，数B，数C」	
	理	「物」・「化」・「生」・「地」から2	
	外	「英」・「独」・「仏」・「中」・「韓」から1	
	情		
〔6教科8科目〕			

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科	科 目 名 等
生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	数学 理科	「数Ⅰ・数Ⅱ・数A・数B・数C」又は 「数Ⅰ・数Ⅱ・数Ⅲ・数A・数B・数C」 「物基，物」・「化基，化」・「生基，生」から1

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コース	試験の区分	国語	地理 歴史	公民	数学	理科	外国語	情報	配点 合計
生物資源総合科学コース	共通テスト	100	*100		300	300	400	50	1250
農林環境科学コース	個別学力検査				250	250			500
海洋生物資源学コース									
生命化学コース	計	100	*100		550	550	400	50	1750

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 得点調整

理科を課している学部受験者の各科目（物理、化学、生物）間で20点以上の平均点差が生じた場合は、理科を課している学部受験者の得点を基準として調整を行います。なお、得点調整を行った場合は、本学ウェブサイトの「入試情報」でお知らせします。

8 個別学力検査の採点・評価基準

コース	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
生物資源総合科学コース 農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	数 学	「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学A，数学B，数学C」もしくは「数学Ⅰ，数学Ⅱ，数学Ⅲ，数学A，数学B，数学C」の理解度を採点・評価の対象とします。数学の基礎的な内容を的確に把握しているか，論理的な考え方ができるか，問題を解くための発想力・思考力・計算力が備わっているか，自分の考えたことを論理的かつ明確に表現できるかなどを，総合的に判断し，評価します。
	理科：物理	「物理基礎」・「物理」の学修における達成度を採点・評価の対象とします。具体的には，自然現象や実験，観測などにおける物理現象および物理法則の理解度を問うことによって，物理学に対する知識，理解力，推理力，計算力，論理的思考力を総合的に評価します。
	理科：化学	「化学基礎」・「化学」の基礎学力の達成度を採点・評価の対象とします。観察や実験に基づいて化学的な事物・現象を理解する力，化学の基本的な概念や原理・法則を活用して正しい結論を導く力を問うとともに，化学に対する論理的思考力と推察力を評価します。
	理科：生物	「生物基礎」・「生物」の基礎学力の達成度および理解度を採点・評価の対象とします。生物及び生命現象の特徴を深く理解するには，それらを遺伝子，細胞，組織，個体および群集レベルでとらえ，分類学，生態学，生理学，発生学，生化学，遺伝学，分子生物学に基づいた思考力を必要とします。それらの基礎的な概念の理解力を問うとともに，総合的に分析し考察する能力を試します。

9 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。
生物資源学部	同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。 各コースの合格者は，募集人員の7割を第1志望から成績順に選考します。 残りの合格者は，第1志望から第3志望を合わせた受験者の中から成績順に選考します。

〈後 期 日 程〉

1 募集人員

学 科 ・ コ ー ス		募集人員
生物資源学科	農 林 環 境 科 学 コ ー ス	28名
	海 洋 生 物 資 源 学 コ ー ス	10名
	生 命 化 学 コ ー ス	10名
計		48名

2 試験時間割

【3月12日(水)】

時間	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00
コース									
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース		ペーパーインタビュー 10:00~11:00 (60分)							

3 志望方法

農林環境科学コース、海洋生物資源学コース、生命化学コースの3コースのうちから第3志望まで出願できます。

4 大学入学共通テストの受験を要する教科・科目名等

令和7年度大学入学共通テストにおいて、本学部が指定した以下の教科・科目を受験していない場合は、出願することができません。

下表の受験科目を志願者自身でチェックして、本学の出願資格を満たすことを必ず確認したうえで、出願するようにしてください。

コ ー ス	教科	科 目 名 等	確認
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	国	国	
	地歴	「地総、地探」・「歴総、日探」・「歴総、世探」	} から1
	公民	「地総／歴総／公」・「公、倫」・「公、政経」	
	数	「数Ⅰ、数A」と「数Ⅱ、数B、数C」	
	理	「物」・「化」・「生」・「地」から2	
	外	英	
	情	情	
	〔6教科8科目〕		

利用教科・科目、配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

5 個別学力検査の実施教科・科目等

コ ー ス	教科等
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生命化学コース	ペーパーインタビュー

6 大学入学共通テスト・個別学力検査の配点等

コ ー ス	試験の区分	国 語	地 理 歴 史	公 民	数 学	理 科	外国語	情報	ペーパー インタビュー	配 点 合 計
農林環境科学コース	共 通 テ ス ト	100	*50		200	200	200	50		800
海洋生物資源学コース	個別学力検査								100	100
生 命 化 学 コ ー ス	計	100	*50		200	200	200	50	100	900

利用教科・科目，配点等に関する注意事項：69～71ページ参照

7 ペーパーインタビューの出題方針・内容

コ ー ス	出 題 方 針 ・ 内 容
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生 命 化 学 コ ー ス	主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価するため，志望理由や学修への意欲等を問う記述試験を行います。

8 個別学力検査の採点・評価基準

コ ー ス	試験教科等	採点・評価基準（一般的基準）等
農林環境科学コース 海洋生物資源学コース 生 命 化 学 コ ー ス	ペ ー パ ー イ ン タ ビ ュ ー	大学入学後の学修への関心・意欲等が確認できる課題を提示して記述させ，主体性・多様性・協働性を多面的・総合的に評価します。

9 合否判定基準

全学部の基本的な基準	大学入学共通テストの成績と個別学力検査等の成績など，「学生募集要項」に記載された配点に基づく総合得点により，上位から順次合格者とします。
生 物 資 源 学 部	同点者は同順位とし，その順位が合格者の最下位である場合は，その順位の者をすべて合格者とします。 各コースの合格者は，募集人員の7割を第1志望から成績順に選考します。 残りの合格者は，第1志望から第3志望を合わせた受験者の中から成績順に選考します。

6 大学入学共通テスト、個別学力検査の利用教科・科目、配点等に関する注意事項

【教科・科目名の表記について】

1. 大学入学共通テストの出題教科・科目名は、次のように示しています。

○国語→国

「国語」→「国」

○地理歴史→地歴

「地理総合、地理探究」→「地総、地探」, 「歴史総合、日本史探究」→「歴総、日探」,

「歴史総合、世界史探究」→「歴総、世探」, 「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」

○公民→公民

「公共、倫理」→「公・倫」, 「公共、政治・経済」→「公・政経」, (「地理総合／歴史総合／公共」→「地総／歴総／公」)

○数学→数

「数学Ⅰ、数学A」→「数Ⅰ、数A」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅲ、数学B、数学C」→「数Ⅲ、数B、数C」

○理科→理

「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「地学基礎」→「地基」, 「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」, 「地学」→「地」

○外国語→外

「英語」→「英」, 「ドイツ語」→「独」, 「フランス語」→「仏」, 「中国語」→「中」, 「韓国語」→「韓」

○情報→情

「情報Ⅰ」→「情」

2. 個別学力検査の出題教科・科目名は、上記1によるほか、次のように略しています。

○「数学Ⅰ」→「数Ⅰ」, 「数学Ⅱ」→「数Ⅱ」, 「数学Ⅲ」→「数Ⅲ」, 「数学A」→「数A」, 「数学B」→「数B」, 「数学C」→「数C」

○「物理基礎」→「物基」, 「化学基礎」→「化基」, 「生物基礎」→「生基」, 「物理」→「物」, 「化学」→「化」, 「生物」→「生」

【大学入学共通テストの利用教科・科目名】欄

(1～3は、各学部共通事項を示す。内①は人文学部、②は教育学部の該当事項を示す。)

1. 指定の教科・科目数を超えて受験した場合には、高得点の教科・科目の得点を採用します。

ただし、『「地理歴史」「公民」』及び「理科」において複数科目を受験した場合は、『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第1解答科目の得点を採用の対象とします。

「理科」(基礎を付した科目)は、2科目を受験した場合のみ当該科目の成績として採用します。

「理科」において2科目受験した場合には第1解答科目の得点を採用の対象とします。

第2解答科目については、第1解答科目が採用された場合についてのみ当該科目の得点として採用の対象となる場合があります。

① 人文学部法律経済学科において、『「地理歴史」「公民」』から2科目、「理科」から2科目受験した場合『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第1解答科目を採用した後、第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

② 教育学部において、『「地理歴史」「公民」』から2科目、「理科(基礎を付していない科目)」から2科目受験した場合

『「地理歴史」「公民」』及び「理科」それぞれの第1解答科目を採用した後、第2解答科目は高得点の科目の得点を採用します。

2. 『「地理歴史」』及び「公民」』では同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

人文学部法律経済学科において、「理科」から2科目受験した場合には、同一名称を含む科目の組合せで2科目を選択することはできません。

3. 大学入学共通テスト「英語」はリスニングが必須となっていますので、リスニングを受験しなければ、本学への出願資格がなくなります。(受験上の配慮によりリスニングを免除された場合を除きます。)
- また、「英語」の得点については、以下のとおり取り扱います。
- (1) 大学入試センターから提供されたリーディングの成績(100点満点)を2倍して200点満点とし、リスニングの成績(100点満点)とを合わせて300点満点としてから、2/3を掛けて200点満点に換算します。
 - (2) (1)で換算した得点を、学部・学科・コースが定めた配点にさらに換算します。
 - (3) 「英語」以外の外国語(ドイツ語、フランス語、中国語、韓国語)は、大学入試センターから提供された成績(200点満点)を、学部・学科・コースが定めた配点に換算します。
- なお、受験上の配慮事項によりリスニングを免除された者については、リーディングの成績(100点)を2倍して200点満点としてから各学部・学科等が定める配点に換算します。

【個別学力検査等】欄

1. 「数学」の出題範囲について
「数学A」については、全範囲から出題します。
「数学B」については、「数列」及び「統計的な推測」を出題範囲とします。
『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学A・数学B・数学C』の中の「数学C」については、「ベクトル」を出題範囲とします。
『数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B・数学C』の中の「数学C」については、「ベクトル」及び「平面上の曲線と複素数平面」を出題範囲とします。
2. 「理科」の出題範囲について
「物理基礎・物理」は、『物理基礎、物理』の全範囲から出題します。
「化学基礎・化学」は、『化学基礎、化学』の全範囲から出題します。
「生物基礎・生物」は、『生物基礎、生物』の全範囲から出題します。

【大学入学共通テスト・個別学力検査等の配点等】欄

1. 配点に、*印を付してある教科は選択教科を示します。
2. 個別学力検査配点欄の#1の「教員志望確認書」を総合評価として利用します。
3. 大学入学共通テストの利用科目名等欄の#2の「物基/化基/生基/地基」を選択する場合は、地学基礎を除く「物理基礎/化学基礎/生物基礎」から2つを選択してください。
4. 個別学力検査配点欄の#3の「調査書」は、各学科又はコースの合否ラインに同点で並んだ場合、総合的に評価し順位をつけます。
5. 個別学力検査配点欄の#4の「立体スケッチ」は、あらかじめ定めた基準以上の者を合否判定の対象とします。
6. 個別学力検査配点欄の#5の「面接」は、あらかじめ定めた基準以上の者を合否判定の対象とします。

【3月28日現在で欠員のある場合】

欠員補充のための第2次募集を実施する場合があります。

【旧教育課程履修者等に対する経過措置について】

1. 大学入学共通テストにおける出題科目について

旧教育課程履修者等は、旧教育課程による出題科目を選択することができます。

なお、新教育課程履修者は、旧教育課程による出題科目を選択することはできません。

新教育課程と旧教育課程による出題教科・科目の対応は下表のとおりとします。

教科		新教育課程による出題科目	旧教育課程による出題科目
国語		『国語』	なし
地理歴史		『地理総合，地理探究』 『歴史総合，日本史探究』 『歴史総合，世界史探究』	『旧世界史A』※1 『旧世界史B』 『旧日本史A』※1 『旧日本史B』 『旧地理A』※1 『旧地理B』
公民		『公共，倫理』 『公共，政治・経済』	『旧現代社会』 『旧倫理』※2 『旧政治・経済』※2 『旧倫理，政治・経済』
数学	①	『数学Ⅰ，数学A』	『旧数学Ⅰ・旧数学A』
	②	『数学Ⅱ，数学B，数学C』	『旧数学Ⅱ』※3 『旧数学Ⅱ・旧数学B』 『旧簿記・会計』※4 『旧情報関係基礎』※4
理科		『物理基礎／化学基礎／生物基礎／地学基礎』 『物理』『化学』『生物』『地学』	なし
外国語		『英語』『ドイツ語』『フランス語』 『中国語』『韓国語』	なし
情報		『情報Ⅰ』	『旧情報』

※1 工学部及び生物資源学部のみ選択可

※2 医学部医学科においては選択不可

※3 人文学部，教育学部及び生物資源学部のみ選択可

※4 医学部及び工学部においては選択不可

2. 個別学力検査における出題について

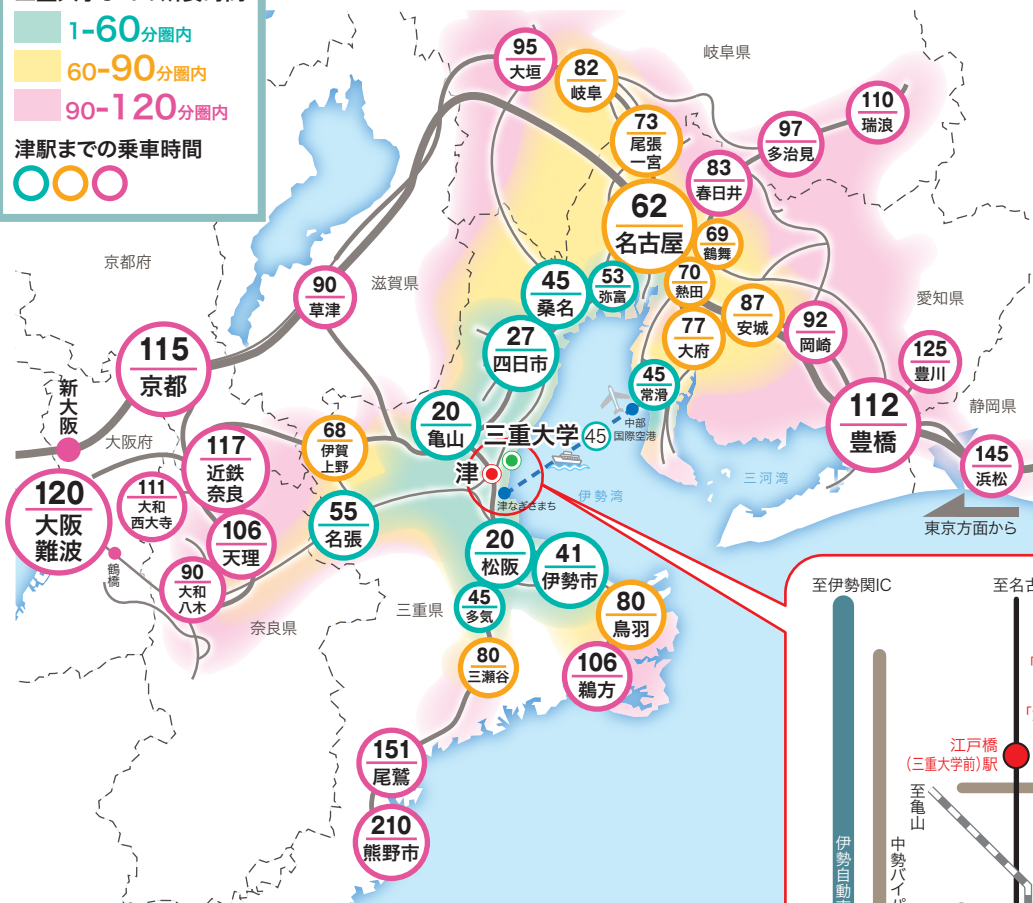
個別学力検査の出題は、旧教育課程履修者にも配慮した出題とします。特別な経過措置はとりません。

三重大学へのアクセス

三重大学までの所要時間



津駅までの乗車時間



「三重大学前」バス停



江戸橋(三重大学前)駅

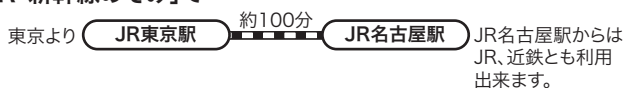


津駅

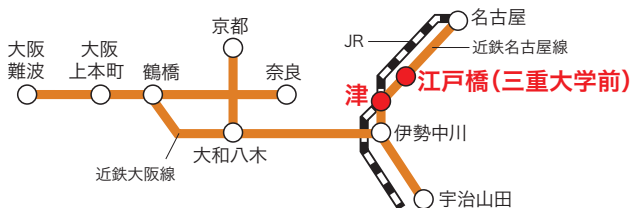
交通案内

東京方面から

JR「新幹線のぞみ」で



名古屋、大阪、京都方面から



近鉄電車「急行」で



近鉄電車「特急」で



JR「快速みえ」で



周辺交通案内

江戸橋(三重大学前)駅から

徒歩約15分

津駅から

1. バスで約15分

三重交通バス津駅東口「4番」のりばより「白塚駅」(06系統)、「三重病院」(51系統)、「棕本(むくもと)」(52系統)、「豊が丘」(52系統)、「サイエンスシティ」(52系統)、「東豊野」(53系統)、「高田高校前」(56系統)行きに乗り、「三重大学前」下車。
(附属病院、医学部、工学部へは「大学病院前」下車)

2. タクシーで約10分

中部国際空港(セントレア)から

津エアポートライン(船)で津なごさまちへ45分

1. 「津なごさまち」から三重交通バスで「津駅前」まで約15分
2. 「津なごさまち」からタクシーで三重大学まで約15分

本学の最新情報等はこちらをご覧ください

<https://www.mie-u.ac.jp>



三重大学への各種問い合わせは下記により行ってください。

問い合わせ時間等 月曜日から金曜日（祝日は除きます。）
8時30分から17時15分まで

○入学試験に関すること

三重大学学務部入試チーム

TEL 059-231-9063

E-mail nyusiteam@ab.mie-u.ac.jp

（入学試験に関する問い合わせは、原則として志願者本人が行ってください。）

○授業科目・学修に関すること

三重大学各学部学務担当

人文学部

TEL 059-231-9197

教育学部

TEL 059-231-9350

医学部医学科

TEL 059-231-5063

医学部看護学科

TEL 059-231-5239

工学部

TEL 059-231-9469

生物資源学部

TEL 059-231-9631

○奨学金（日本学生支援機構等）に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9061

○入学料徴収猶予及び入学料・授業料免除に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-9678

○学生寮に関すること

三重大学学務部学生支援チーム

TEL 059-231-5371

○就職に関すること

三重大学学務部キャリア支援チーム

TEL 059-231-9654

○入学料及び授業料納付に関すること

三重大学財務部財務管理チーム

TEL 059-231-9028

○三重県医師修学資金に関すること

三重大学医学・病院管理部

学務課学務第一係

TEL 059-231-5063

三重県医療保健部医療人材課

TEL 059-224-2326

<URL> <https://www.pref.mie.lg.jp/IRYOS/HP/oinainet/56279042622.htm>

三重大学学務部入試チーム

〒514-8507

津市栗真町屋町1577

TEL 059-231-9063

FAX 059-231-5382

本学ウェブサイトの「入試情報」をご覧ください。

<URL> <https://www.mie-u.ac.jp/exam/index.html>

